MICROLINE Pro 9800PS ユーザーズマニュアル

応 用 編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE Pro 9800PS-X
MICROLINE Pro 9800PS-S
MICROLINE Pro 9800PS-E

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

マニュアルの構成

本製品のユーザーズマニュアルは、次のような8部構成になっています。目的に応じてお読みください。

プリンタ機能編
　プリンタの使い方や持っている機能、消耗品の交換方法、紙づまり等のトラブルの対処方法、オプション類の取り付け方が載っています。

セットアップ編− Windows をお使いの方−
　Windowsのコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
　プリンタの設置が終わったら、お読みください。

セットアップ編− Macintosh、UNIX、Linux をお使いの方−
　Macintosh、UNIX、Linuxのコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
　プリンタの設置が終わったら、お読みください。

応用編（本書）
　色々な用紙に印刷したい時、便利な機能を使って印刷したい時、添付のユーティリティを使って快適な印刷環境にしたい時、カラーを調整したい時などにお読みください。

設定管理ガイド
　MLPro9800PSの基本的な設定方法や管理方法を説明します。UNIX、Windows NT/2000/Server2003、Novellサーバ上でPostScript印刷サービスを提供する設定方法についても説明します。

PS印刷ガイド
　ネットワーク上のリモートワークステーションからMLPro9800PSに印刷ジョブを送信する方法、プリントオプション、MLPro9800PSが提供するフォントについて説明します。

カラーガイド
　キャリブレーションおよびFiery Color Wise ProToolsに関する情報を提供します。

ジョブ管理ガイド
　Command WorkStation/Command WorkStation LEおよびその他のユーティリティの機能、ならびにジョブ管理方法を説明します。本書は印刷ジョブフローの監視/管理を行うシステム管理者 / オペレータ、および同レベルのアクセス特権を持つユーザを対象に書かれています。

本書の表記

本書では、MICROLINE Pro 9800PS-Xを例として説明しています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE Pro 9800PS-X → MLPro9800PS-X
- MICROLINE Pro 9800PS-S → MLPro9800PS-S
- MICROLINE Pro 9800PS-E → MLPro9800PS-E
- MLPro9800PS-X、MLPro9800PS-S、MLPro9800PS-Eの総称 → MLPro9800PS
- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称 → Windows
- MacOS 9.2/9.2.1/9.2.2 → MacOS
- Mac OS X 10.2.4以降 → Mac OS X

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。

⚠警告

	電池は、間違ったタイプと交換した場合、爆発するおそれがあります。本プリンタの電池は交換する必要がありません。電池には手を触れないでください。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。 無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

目次

1 色々な用紙に印刷する

はがき、往復はがきに印刷する

はがき、往復はがきは「マルチパーパストレイ」または「トレイ１」から印刷します。

使用できるはがき

- 官製はがき
- 官製往復はがき

インクジェット用はがき、写真加工されたはがきや切手が貼付されたはがきは除きます。

「マルチパーパストレイ」から手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷する」(99ページ)をご覧ください。

手順（1〜4まであります）

1 はがきをセットします。

マルチパーパストレイを使う場合

用紙のセット方向

印刷面を上にします。

はがき

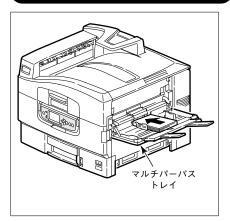
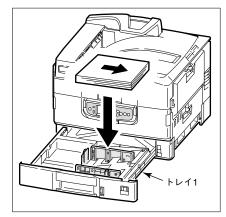
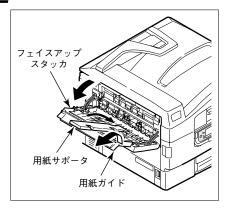
往復はがき

トレイ1を使う場合

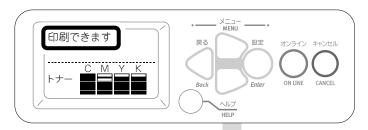
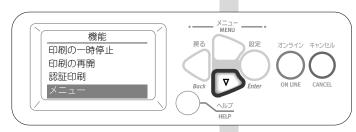
用紙のセット方向

印刷面を下にします。

はがき

往復はがき

2 「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、用紙サイズの設定を確認します。

マルチパーパストレイを使う場合　トレイ1を使う場合は13ページをご覧ください。

工場出荷時は[A4横送り]に設定されているため、以下の設定が必要です。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ◯設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認して、◯設定ボタンを押します。

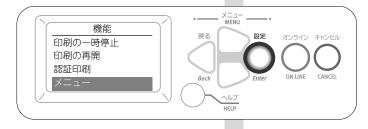
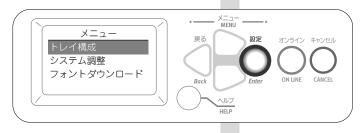
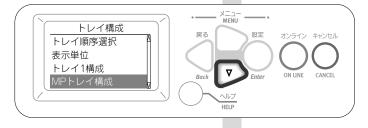
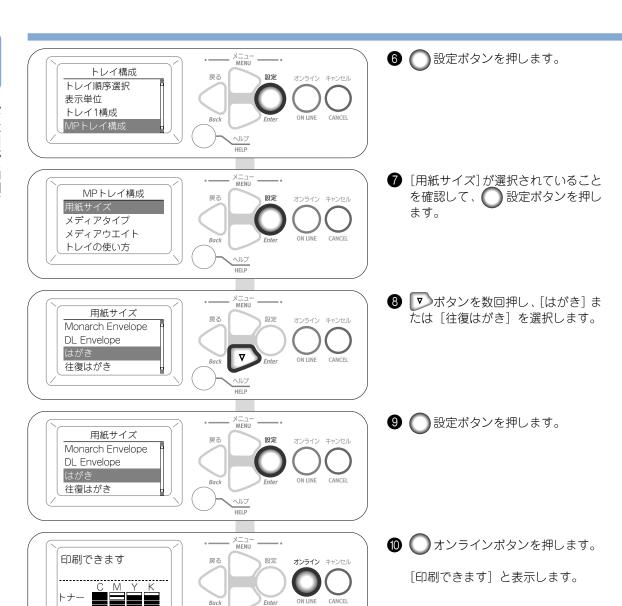
❺ ▽ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

❼ [用紙サイズ] が選択されていることを確認して、設定ボタンを押します。

❽ ▽ボタンを数回押し、[はがき] または [往復はがき] を選択します。

❾ 設定ボタンを押します。

❿ オンラインボタンを押します。

[印刷できます] と表示します。

手順4（15 ページ）へ進みます。

トレイ1を使う場合

マルチパーパストレイを使う場合は11ページをご覧ください。

工場出荷時は[はがき]に設定されています。変更していない場合は、手順4に進みます。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ○設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認し、○設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを数回押し、［トレイ1構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

❼ ▽ボタンを数回押し、[A5/A6 用紙] を選択します。

❽ 設定ボタンを押します。

❾ ▽ボタンを押し、[はがき] を選択します。

❿ 設定ボタンを押します。

⓫ オンラインボタンを押します。

[印刷できます] と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。

❻［用紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❼［仕上げ］オプションバーをクリックします。

❽［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❾「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0では、［OK］）をクリックし、印刷します。

PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は18ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は17ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❻［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

封筒に印刷する

封筒は「マルチパーパストレイ」から印刷します。

使用できる封筒

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
封筒長形3号	120×235	坪量85g/m²	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒で、フラップ部が折れていないもの
封筒長形4号	90×205		
封筒洋形4号	105×235		
角形2号	240×232		
角形3号	216×277		
角形8号	119×197		
洋形0号	120×235		
Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lb	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒で、フラップ部がきちんと折れているもの
Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)		
DL	110×220(4.33×8.66)		
C5	162×229(6.38×9.02)		
C4	229×324(9.02×12.76)		
Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)		

以下の封筒は除きます。

切手の貼ってある封筒、プラスチック封筒、二重封筒、とめ、金ボタン、窓のある封筒、フラップ部に粘着剤や両面テープのついた封筒、シワや反りのある封筒、変形や折れ曲がりのある封筒、表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

「マルチパーパストレイ」から手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷する」(99ページ)をご覧ください。

- 印刷後は反りやシワ、印刷かすれが生じることがあります。
- 封筒全体にトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- 封筒のはり合せ部分のまわり（約5mm）は、印刷品位が低下することがあります。

封筒の用紙タイプ設定と用紙厚設定

定型封筒サイズの印刷では、用紙タイプ（メディアタイプ）で「封筒」を指定する必要はありません。
用紙厚（メディアウエイト）は「プリンタ設定」または「やや厚い紙」を選択してください。
（デフォルトは「プリンタ設定」に設定されています。）

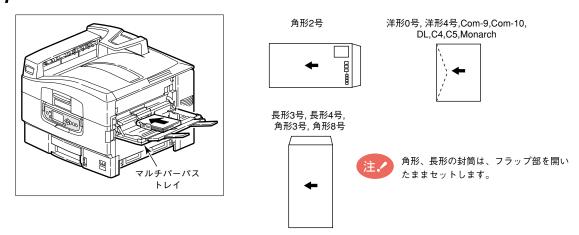
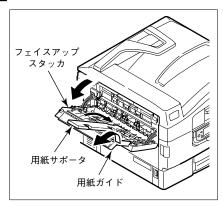
シワが発生する場合には、用紙厚(メディアウエイト)設定を、プリンタ操作パネルおよびプリンタドライバで「普通紙」もしくは「薄い紙」に変更してください。
設定方法については3項、4項を参照ください。

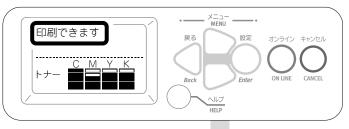
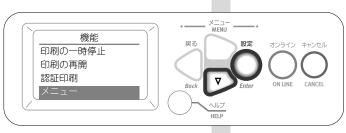
また、印刷位置精度も同様に封筒の吸湿や封筒の品質にも左右されます。斜行または書き出し位置不良等が発生する場合には、1度にセットする枚数を減らしてください。

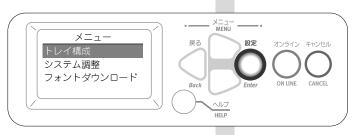
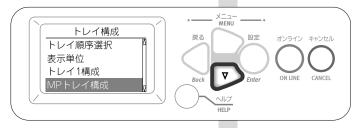
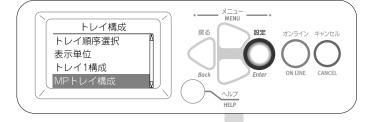
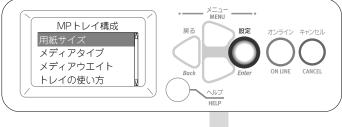
定型サイズの封筒に印刷します

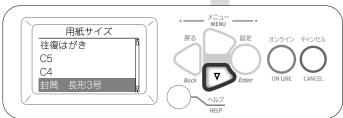
手順（1〜4まであります）

1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

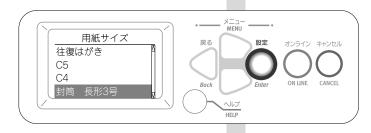
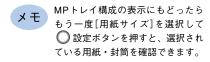
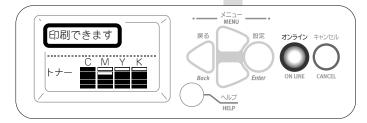
注 角形、長形の封筒は、フラップ部を開いたままセットします。

2 プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、用紙サイズを設定します。

工場出荷時は[A4横送り]に設定されているため、以下の設定が必要です。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］を選択していることを確認して、設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❺ 設定ボタンを押します。

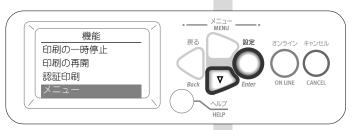
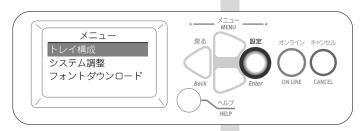
❻ [用紙サイズ] を選択していることを確認して、◯設定ボタンを押します。

❼ ▽ボタンを数回押し、印刷したい封筒のサイズを選択します。
ここでは、長形３号を例にします。

❽ ◯設定ボタンを押します。

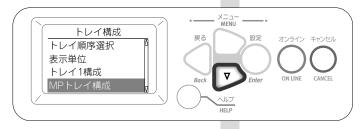
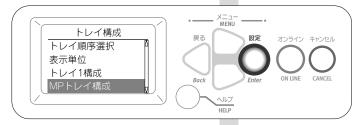
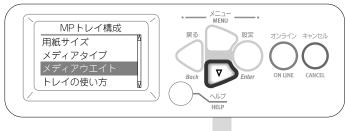
MPトレイ構成の表示にもどったらもう一度[用紙サイズ]を選択して◯設定ボタンを押すと、選択されている用紙・封筒を確認できます。

❾ ◯オンラインボタンを押します。

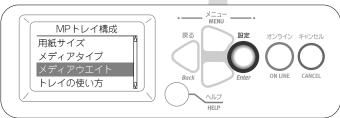
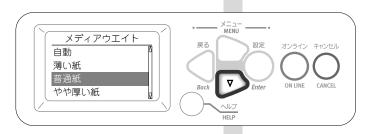
[印刷できます］と表示します。

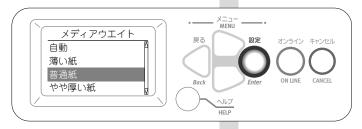
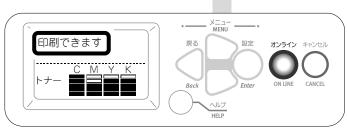
ここまでの設定で、手順４（26 ページ）へ進み封筒に印刷することができますが、封筒にシワが発生する場合は、次ページの手順にしたがってメディアウエイトの設定を行ってください。

封筒にシワが発生する場合、以下の手順でメディアウエイトを設定します。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［メニュー］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］を選択していることを確認して、◯設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

❺ ◯設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押し、[メディアウエイト] を選択します。

❼ 設定ボタンを押します。

❽ ▽ボタンを数回押し [普通紙] または [薄い紙] を選択します。

❾ 設定ボタンを押します。

❿ オンラインボタンを押します。

[印刷できます] と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形３号］～［封筒洋形０号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。

❻［用紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❼［用紙厚］（スクロールが必要）で適切な用紙厚を選択します。

- プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
- プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで[自動]を設定した場合は、用紙厚で[プリンタの初期設定]を選択してください。

❽［仕上げ］オプションバーをクリックします。

❾［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❿「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0では、［OK］）をクリックし、印刷します。

PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形３号］～［封筒洋形０号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を、［用紙厚］で適切な用紙厚を選択します。

メモ
・プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
・プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで［自動］を設定した場合は、用紙厚で［プリンタの初期設定］を選択してください。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方

Mac OS Xをお使いの方は29ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［封筒長形３号］～［封筒洋形０号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します

❻［プリンタ固有機能］パネルの［用紙厚］で適切な用紙厚を選択します。

- プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
- プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで[自動]を設定した場合は、用紙厚で[プリンタの初期設定]を選択してください。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は28ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［封筒長形４号］～［封筒洋形０号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリンタ機能］パネルの［仕上げ１］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

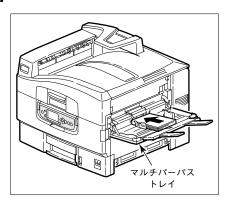
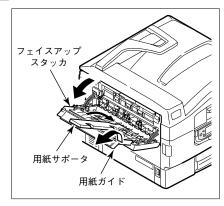
❼［プリンタ固有機能］パネルの［用紙厚］で適切な用紙厚を選択します。

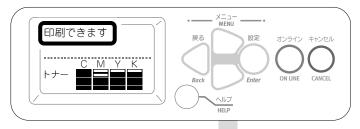
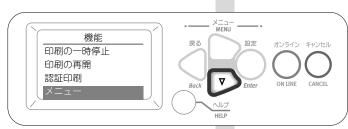
メモ
・プリンタの操作パネルで設定したメディアウエイトと同じ値を選択してください。
・プリンタ操作パネルで、メディアウエイトで[自動]を設定した場合は、用紙厚で[プリンタの初期設定]を選択してください。

❽［プリント］をクリックし、印刷します。

非定型サイズの封筒に印刷します

手順（1～4まであります）

1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

2 プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、カスタム用紙サイズとメディアタイプの設定をします。

工場出荷時は[A4横送り]に設定されているため、以下の設定が必要です。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、[メニュー]を選択します。

❸ ◯設定ボタンを押します。

❹ [トレイ構成]が選択されていることを確認して、◯設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを数回押し、[MP トレイ構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

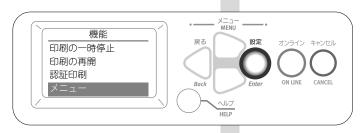
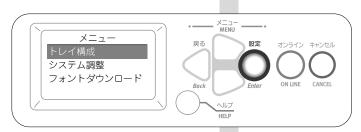
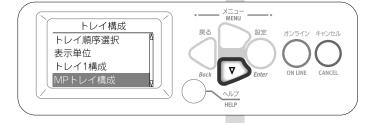
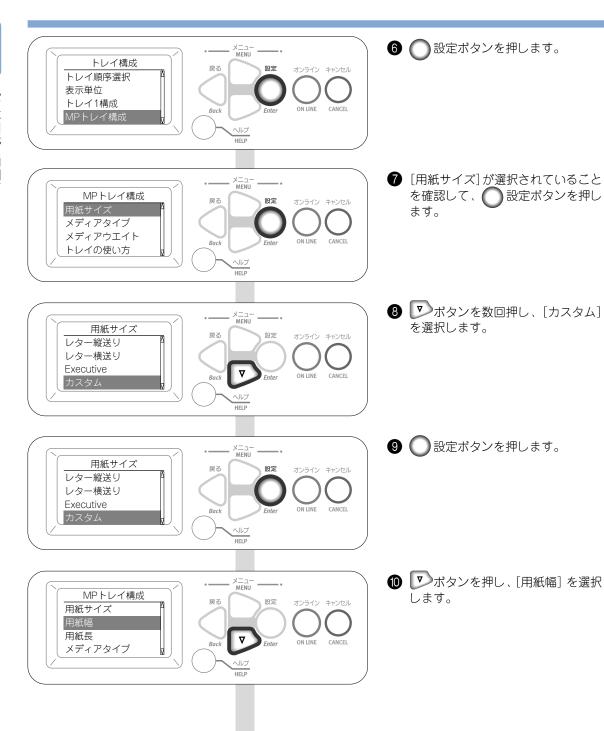
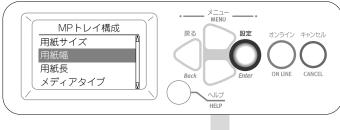
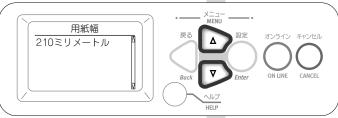
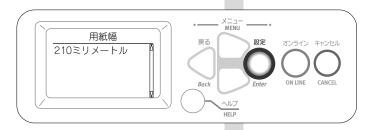
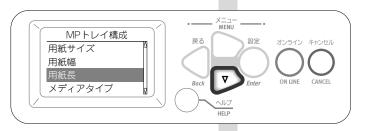
❼ [用紙サイズ]が選択されていることを確認して、設定ボタンを押します。

❽ ▽ボタンを数回押し、[カスタム]を選択します。

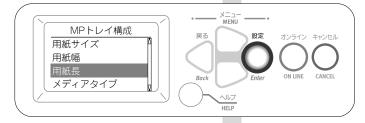
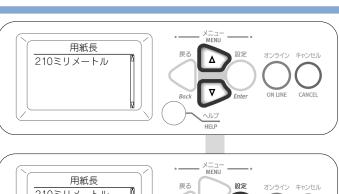
❾ 設定ボタンを押します。

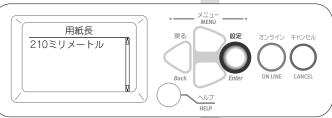
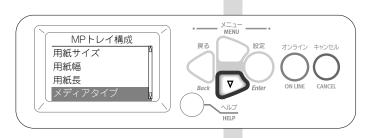
❿ ▽ボタンを押し、[用紙幅] を選択します。

⓫ 設定ボタンを押します。

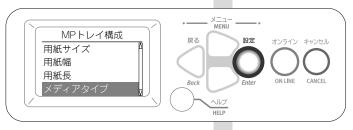
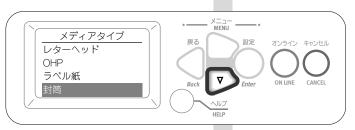
⓬ ▽ボタンまたは△ボタンを押し、適切な用紙幅を選択します。

⓭ 設定ボタンを押します。

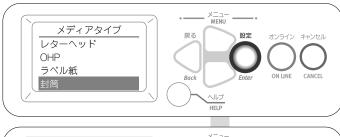
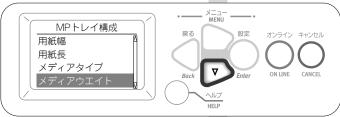
用紙長も用紙幅と同様に、適切な値を設定します。

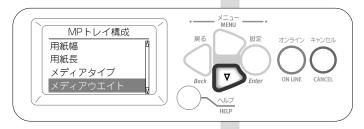
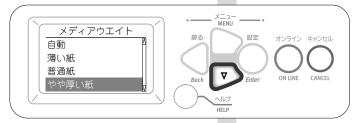
⓮ ▽ボタンを数回押し、[用紙長] を選択します。

⓯ 設定ボタンを押します。

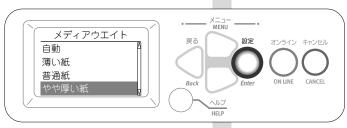
⑯ ▽ボタンもしくは△ボタンを押し、適切な用紙長を選択します。

⑰ ◯設定ボタンを押します。

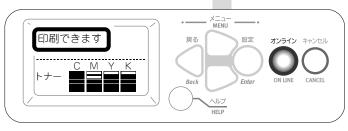
次に、メディアタイプを設定します。

⑱ ▽ボタンを数回押し、[メディアタイプ] を選択します。

⑲ ◯設定ボタンを押します。

⑳ ▽ボタンを数回押し、[封筒] を選択します。

㉑ 設定ボタンを押します。

㉒ ボタンを数回押し、[メディアウエイト] を選択します。

㉓ 設定ボタンを押します。

㉔ ボタンを数回押し適切なメディアウエイトを選択します。

メモ　使用する封筒用紙での印刷結果に応じて設定を調整してください。

㉕ 設定ボタンを押します。

㉖ オンラインボタンを押します。

[印刷できます] と表示します。

4 以下の手順に従って印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」58ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹［Fiery 印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックし、［用紙サイズ］で［PostScriptカスタムページサイズ］を、［用紙タイプ］で［封筒］を選択します。

メモ　Windows98/Meでは［用紙サイズ］で、［サイズ指定用紙1］ー［サイズ指定用紙3］のいずれかを選択します

❺［仕上げ］オプションバーをクリックし、［排出先］（スクロールが必要）で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻［OK］をクリックし、印刷します。

PCLプリンタドライバをお使いの方

PCLプリンタドライバは、Windows共通です。

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」58ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［サイズ］で手順❶で登録したユーザ定義サイズを、［用紙タイプ］で［封筒］を、［用紙厚］で印刷する用紙に対して適切な用紙厚を選択します。

❺［印刷オプション］タブをクリックし、［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻［OK］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」58ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、[ファイル] メニューの [ページ設定] を選択し、[用紙サイズ] で手順❶で登録したカスタムサイズを選択します。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [プリンタ固有機能] パネルの [用紙タイプ] で [封筒] を、[用紙厚] で印刷する用紙に対して適切な用紙厚を選択します。

❺ [仕上げ] パネルの [排出先] で [スタッカ（フェイスアップ）] を選択します。

❻ [プリント] をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

❶「長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）」58ページを参照してプリンタドライバにカスタムサイズを登録します。

❷ 印刷するファイルを開き、[ファイル] メニューの [ページ設定] を選択し、[対象プリンタ] でプリンタの機種名を選択し、[用紙サイズ] で手順❶で登録したカスタムページサイズを選択します。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [プリンタの機能] パネルの [用紙トレイ 1] 機能セットの [用紙タイプ] で [封筒] を選択します。

❺ [用紙トレイ 2] 機能セットの [用紙厚] で印刷する用紙に対して適切な用紙厚を選択します。

❻ [仕上げ 1] 機能セットの [排出先] で [スタッカ（フェイスアップ）] を選択します。

❼ [プリント] をクリックし、印刷します。

ラベル紙に印刷する

ラベル紙は「マルチパーパストレイ」から印刷します。

使用できるラベル紙

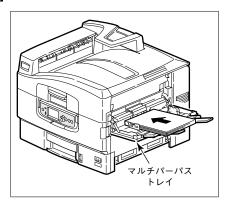
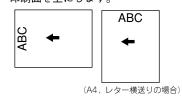
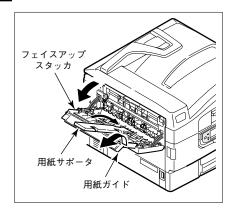
サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	推奨紙
A4	210×297	0.13〜0.2mm	LBP-F7XXX（コクヨ製）
レター	215.9×279.4(8.5×11)		

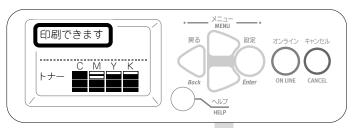
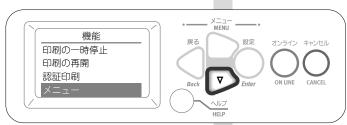
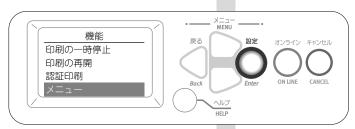
「マルチパーパストレイ」から手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷する」(99ページ）をご覧ください。

手順（1〜4まであります）

1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

用紙のセット方向
印刷面を上にします。

（A4、レター横送りの場合）

2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、「メディアウエイト」、「用紙サイズ」、「メディアタイプ」を設定します。

工場出荷時は[用紙厚自動]、[A4横送り]の[普通紙]に設定されているため、以下の設定が必要です。
プリンタドライバで設定することもできます。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ○設定ボタンを押します。

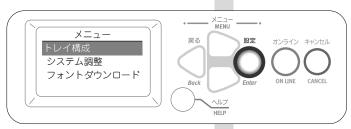
❹ [トレイ構成]が選択されていることを確認し、○設定ボタンを押します。

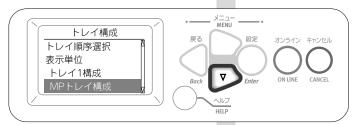
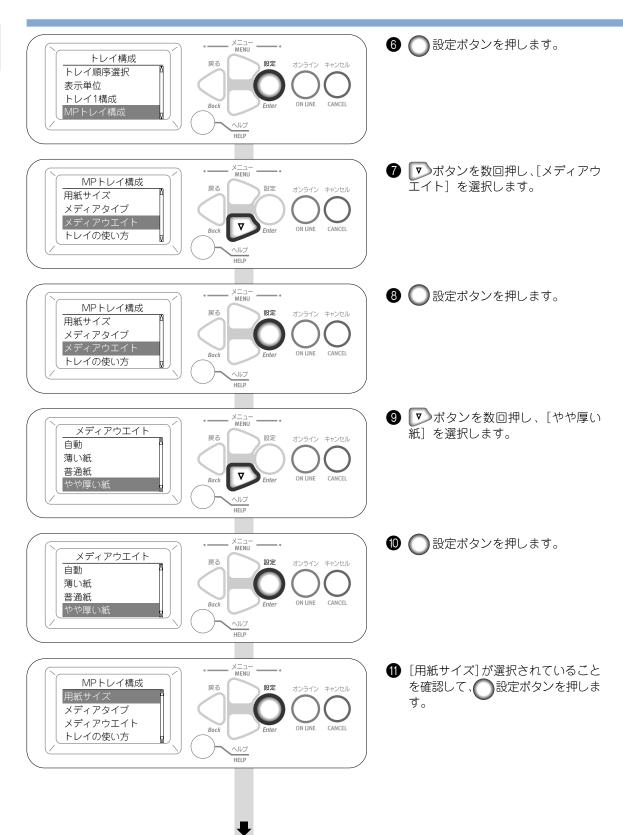
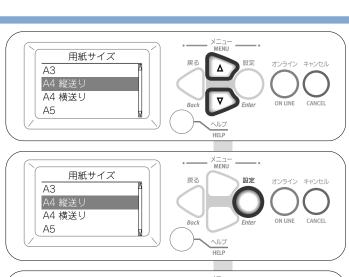
❺ ▽ボタンを数回押し、[MP トレイ構成］を選択します。

❻ 設定ボタンを押します。

❼ ▽ボタンを数回押し、[メディアウエイト] を選択します。

❽ 設定ボタンを押します。

❾ ▽ボタンを数回押し、[やや厚い紙] を選択します。

❿ 設定ボタンを押します。

⓫ [用紙サイズ]が選択されていることを確認して、設定ボタンを押します。

⓬ ▽ボタンまたは△ボタンを使用して［A4　縦送り］を選択します。

⓭ ◯設定ボタンを押します。

⓮ ▽ボタンを押し、［メディアタイプ］を選択します。

⓯ ◯設定ボタンを押します。

⓰ ▽ボタンを数回押し、［ラベル紙］を選択します。

⓱ ◯設定ボタンを押します。

⓲ ◯オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷ [用紙] で [A4 横送り]、[A4 縦送り]、[レター横送り] または [レター縦送り]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

[横送り]、[縦送り]はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❹ [プロパティ] (WindowsXP/Server2003 では [詳細設定]) をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❺ [Fiery印刷] タブの [用紙トレイ] オプションバーをクリックします。

❻ [用紙トレイ] で [マルチパーパストレイ] を選択します。

❼ [仕上げ] オプションバーをクリックします。

❽ [排出先] で [スタッカ (フェイスアップ)] が選択されていることを確認し [OK] をクリックします。(Windows2000では、[OK] をクリックする必要はありません。)

❾ 「印刷」画面で [印刷] (WindowsMe/98/NT4.0では、[OK]) をクリックし、印刷します。

PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4 横送り］、［A4 縦送り］、［レター横送り］または［レター縦送り］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

［横送り］、［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

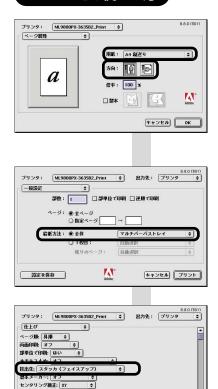
❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方

Mac OS Xをお使いの方は47ページをご覧ください。

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4 横送り］、［A4 縦送り］、［レター横送り］または［レター縦送り］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

注 ［横送り］、［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は46ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4 ］、［A4 縦送り］、［レター］または［レター縦送り］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

注 ［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1 ］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

OHPフィルムに印刷する

OHPシートは「マルチパーパストレイ」または「トレイ１」から印刷します。

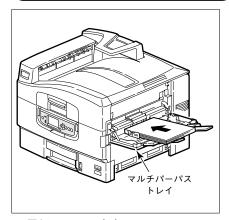
使用できるOHPフィルム

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	推奨紙
A4	210×297	0.1〜0.125mm	MLOHP01 電子写真プリンタ用または乾式PPC用OHPシート
レター	215.9×279.4(8.5×11)		

「マルチパーパストレイ」から手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷する」(99ページ)をご覧ください。

手順（1〜4まであります）

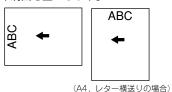
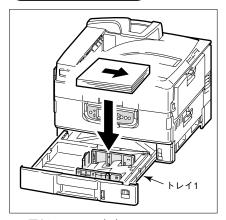
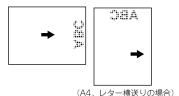
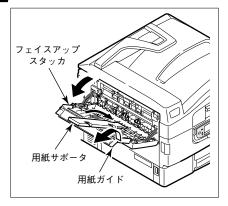
1 用紙をセットします。

マルチパーパストレイを使う場合

用紙のセット方向
印刷面を上にします。

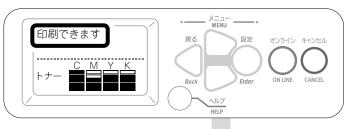
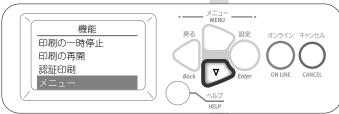
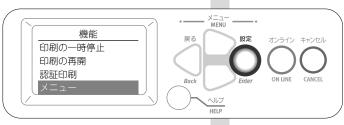
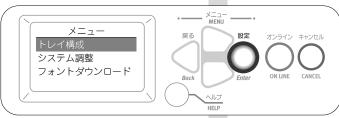
（A4、レター横送りの場合）

トレイ1を使う場合

用紙のセット方向
印刷面を下にします。

（A4、レター横送りの場合）

2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、「用紙サイズ」と「メディアタイプ」を設定します。

マルチパーパストレイを使う場合　トレイ1を使う場合は52ページをご覧ください。

工場出荷時は[A4横送り]の[普通紙]に設定されているため、以下の設定が必要です。
メディアタイプは、プリンタドライバで設定することもできます。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ○設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認し、○設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを数回押し、［MP トレイ構成］を選択します。

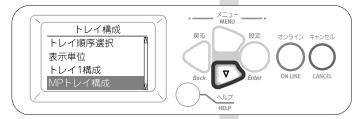
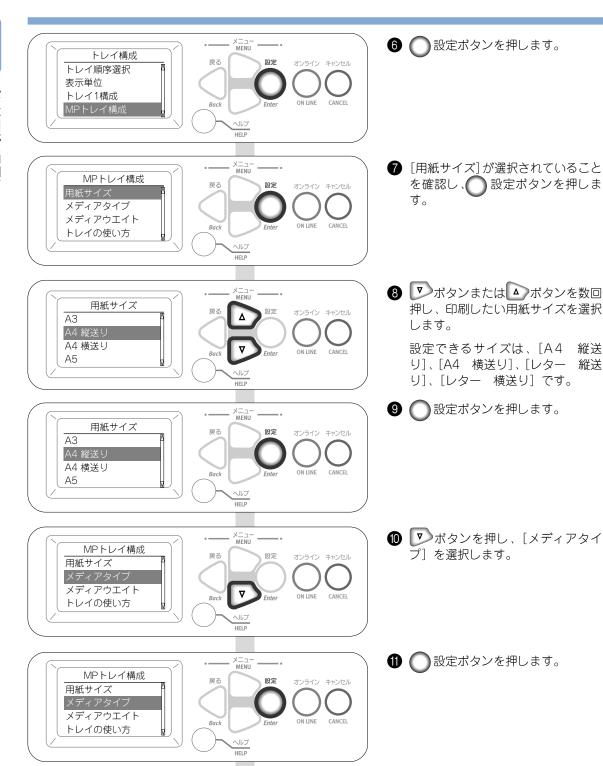
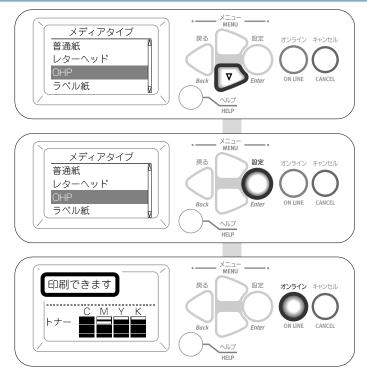
❻ ◯ 設定ボタンを押します。

❼ ［用紙サイズ］が選択されていることを確認し、◯ 設定ボタンを押します。

❽ ▽ボタンまたは△ボタンを数回押し、印刷したい用紙サイズを選択します。

設定できるサイズは、［A4　縦送り］、［A4　横送り］、［レター　縦送り］、［レター　横送り］です。

❾ ◯ 設定ボタンを押します。

❿ ▽ボタンを押し、［メディアタイプ］を選択します。

⓫ ◯ 設定ボタンを押します。

⓬ ボタンを数回押し、[OHP] を選択します。

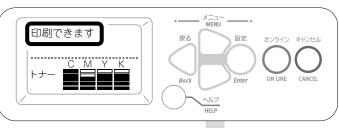
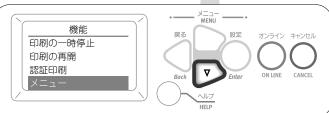
⓭ 設定ボタンを押します。

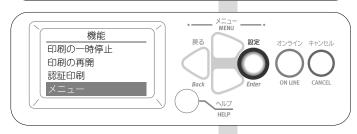
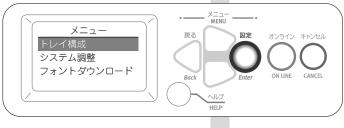
⓮ オンラインボタンを押します。

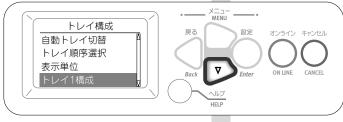
[印刷できます] と表示します。

手順4（54ページ）へ進みます。

トレイ1を使う場合

マルチパーパストレイを使う場合は49ページをご覧ください。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押し、［メニュー］を選択します。

❸ ◯設定ボタンを押します。

❹ ［トレイ構成］が選択されていることを確認し、◯設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを数回押し、［トレイ1構成］を表示します。

❻ ◯設定ボタンを押します。

❼ [▽] ボタンを押し、［メディアタイプ］を表示します。

❽ 設定ボタンを押します。

❾ [▽] ボタンを数回押し、[OHP] を選択します。

❿ 設定ボタンを押します。

⓫ オンラインボタンを押します。

［印刷できます］と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4 横送り］、［A4 縦送り］、［レター横送り］または［レター縦送り］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

注 ［横送り］、［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。

❻［用紙トレイ］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❼［仕上げ］オプションバーをクリックします。

❽［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❾「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0では、［OK］）をクリックし、印刷します。

PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4 横送り］、［A4 縦送り］、［レター横送り］または［レター縦送り］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

注 ［横送り］、［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

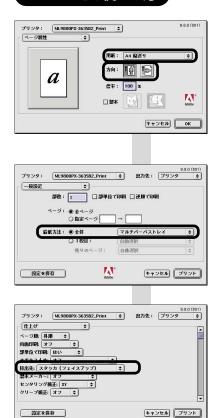
❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方

Mac OS Xをお使いの方は57ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4 横送り］、［A4 縦送り］、［レター横送り］または［レター縦送り］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

注 ［横送り］、［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は56ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ 対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］、［A4 縦送り］、［レター］または［レター縦送り］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

注 ［縦送り］はプリンタの各トレイにセットした用紙の置きかたを意味します。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］または［トレイ 1］を選択します。

❻［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットパネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）

長尺紙や任意のサイズ（幅は76.2～328mm、長さは90～1200mm）の用紙に印刷できます。
印刷する用紙はマルチパーパストレイ、またはトレイ1～5（トレイ2～5はオプション）にセットし、フェイスアップスタッカへ排出します。但し、長さが457mmを超える用紙もしくは幅が100mm未満の用紙は、マルチパーパストレイにセットします。用紙は縦長に用紙がフィードされる方向にセットします。
アプリケーションによっては利用できない場合があります。

- MLPro9800PS-S/-Eで長さが457.2mmを超える用紙に印刷する場合は、合計1GBのメモリが必要です。メモリが1GB未満の場合は、A4サイズで印刷します。
- メモリを合計1GB搭載した場合でも、PSドライバの[印刷品位]で[きれい]を指定した場合は、印刷可能な用紙長は600mmまでです。
- 長さが457.2mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。
- PCLプリンタドライバをお使いの場合、長さが457.2mmを超える用紙に印刷する時に、[印刷品位]に「きれい」を指定しても「ふつう」の指定として扱われます。
- 使用できる用紙は連量55～230kg（64～268g/m^2）の用紙です。ただし、連量187kg（217g/m^2）以上の用紙はマルチパーパストレイにセットしてください。
- 幅が100mm未満の用紙は[用紙を入れてください　マルチパーパストレイ]が表示されたらオンラインボタンを押して印刷します。
- 長尺紙は連量110kg（128g/m^2）の用紙を使用してください。
- 用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、[印刷品位]で「ふつう」または「はやい」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ **WindowsXP をお使いの方**

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows2000 をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

Windows Server 2003 をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] を選択します。

❷ [OKI MICROLINE ***(PS)]（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

❹ [用紙サイズ] で [PostScript カスタムページサイズ] を選択します。

❺ 「PostScript カスタムページサイズの定義」画面で [幅] と [高さ] を入力します。

- サイズは、幅＜高さ（縦長）となるように設定してください。
- 用紙の向きでは、「短辺から出力」を選択してください。

❻ [OK] をクリックします。

❼ 印刷したいファイルを開き、[PostScriptカスタムページサイズ] を指定し、印刷します。

WindowsMe/98 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

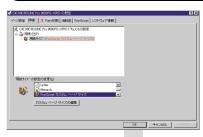
❸ ［Fiery印刷］タブで「用紙トレイ」バーオプションをクリックし、［用紙サイズ］メニューで［サイズ指定用紙 1］ー［サイズ指定用紙3］のいずれかを選択して右側の［カスタムサイズ］ボタンをクリックします。
ユーザ定義サイズは 3 個まで定義できます。

❹ 「カスタム定義サイズの設定」画面で［用紙名］、［幅］、［高さ］を入力します。

・サイズは、幅＜高さ（縦長）となるように設定してください。
・「横置き」のチェックは外してください。

❺ ［OK］をクリックします。
作成した用紙は、［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。

❻ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［用紙サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択します。

❹ ［カスタムページサイズの編集］をクリックします。

❺ 「PostScript カスタムページサイズ定義」画面で［幅］と［高さ］を入力します。

注
・サイズは、幅＜高さ（縦長）となるように設定してください。
・［用紙フィードの方向］で［短辺］を選択してください。

❻ ［OK］をクリックします。

❼ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

PCLプリンタドライバをお使いの方

PCLプリンタドライバは、Windows共通です。

❶ **WindowsXP をお使いの方**

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。
[OKI MICROLINE ***(PCL)] (***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

Windows2000 をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
[OKI MICROLINE ***(PCL)] (***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

Windows Server 2003 をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] を選択します。
[OKI MICROLINE ***(PCL)] (***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

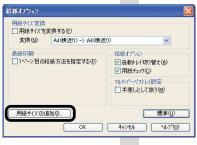
WindowsMe/98/95 をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
[OKI MICROLINE ***(PCL)] (***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

WindowsNT4.0 をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
[OKI MICROLINE ***(PCL)] (***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値] を選択します。

❷ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

❸ 「給紙オプション」画面で [用紙サイズの追加] をクリックします。

❹「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❺［追加］をクリックします。
作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

❻ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

MacOSをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸［カスタムページ設定］パネルを選択し、［幅］と［高さ］、［カスタムページ名］を入力し、［追加］をクリックします。

注 サイズは、幅＜高さ（縦長）となるように設定してください。

メモ

余白　上下左右の余白を設定します。

❹［OK］をクリックします。
作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

Mac OS Xをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［カスタム用紙サイズ］パネルで［新規］をクリックします。

❹「カスタム用紙サイズ編集」画面で、［カスタム用紙サイズの名前］、［幅］、［長さ］を入力します。

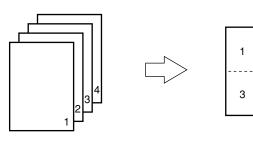
サイズは、幅<高さ（縦長）となるように設定してください。

❺［保存］をクリックします。
作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

2 色々な機能を使って印刷する

複数ページを1枚に印刷する

複数枚のドキュメントを縮小して1枚の用紙に印刷します。両面印刷機能(68ページ)と組み合わせると、より多くのページを1枚の用紙に印刷することができます。

この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］(WindowsXP/Server2003では［詳細設定］)をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ ［Fiery印刷］タブの［レイアウト］オプションバーをクリックします。

❺ ［レイアウト］を選択します。

WindowsMe/98 PSプリンタドライバをお使いの場合、［境界線を印刷する］のチェックを外すと、枠線を消すことができます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］(WindowsXP/Server2003では［詳細設定］)をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］(nは1枚に印刷するページ数）を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［ページ/枚］、［レイアウトの方向］、［枠線］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

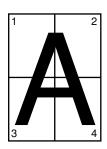
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［ページ数/枚］、［レイアウト方向］、［枠線］を選択します。

ページ/枚
　割り付けるページ数、配置を選択します。
　必ず[2ページ/枚]、[4ページ/枚]…を選択してください。[2×2枚/ページ]、[4×4枚/ページ]…は選択しないでください。

枠線
　各ページを枠線で囲むことができます。

複数枚に拡大して印刷（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。
5. ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定します。

拡大
1ページを何ページ分に拡大するかを指定します。

トンボ
仕上がりの位置を示す目印を印刷します。

オーバーラップ
重なる部分の幅を設定します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

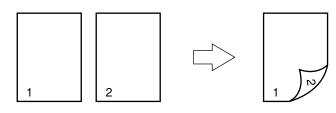
❸ ［レイアウト］パネルの［ページ数 / 枚］を選択します。

メモ　ページ/枚
　分割する枚数、配置を選択します。
　必ず[2×2枚/ページ]、[4×4枚/ページ]…を選択してください。[2ページ/枚]、[4ページ/枚]…は選択しないでください。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

用紙の両面に印刷する(両面印刷)

用紙の両面に印刷します。MLPro9800PS-S/-Eでは、オプションの「両面印刷ユニット」と「増設メモリ」が必要です。プリンタドライバで両面印刷ユニットと増設メモリを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
両面印刷できる用紙サイズはA3、A3ワイド、A3ノビ、タブロイド、タブロイドエクストラ、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブ、カスタムサイズ(幅100〜328mm, 長さ148〜457.2mm)です。
両面印刷できる用紙の厚さは、連量55kg〜103kg(64〜120g/m²)です。
複数ページを1枚に印刷する機能(64ページ)と組み合わせると、より多くのページを1枚の用紙に印刷することができます。
[印刷品位]に[ふつう]以外を指定して両面印刷する場合、B4を超える大きさの用紙サイズに印刷するには、合計512MBのメモリが必要です。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXP/Server2003では [詳細設定])をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
4. [Fiery印刷] タブの [仕上げ] オプションバーをクリックします。
5. [両面印刷] で [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXP/Server2003では [詳細設定])をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
4. [設定] タブの [両面印刷] で [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［仕上げ］パネルの［両面印刷］で［長辺とじ］もしくは［短辺とじ］を選択します。

［レイアウト］パネルの［両面に印刷］はマニュアル両面印刷機能になります。
マニュアル両面印刷では奇数ページが最初に印刷され、片面印刷が完了した用紙を再度手動でプリンタにセットしなおして偶数ページの印刷を完了させる必要があります。
オプションの［両面印刷ユニット］をお持ちの場合には［仕上げ］パネルの両面印刷をご利用ください。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルの［仕上げ 1］パネルを選択し、［両面印刷］で［長辺とじ］もしくは［短辺とじ］を選択します。

注

Mac OSX10.3以降で、［レイアウト］パネルの［両面プリント］は使用できません。

スタンプ印刷(ウォーターマーク)

アプリケーションから印刷される内容とは独立して[見本]や[社外秘]などの文字を重ね印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003/NT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

WindowsMe/98 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［Fiery印刷］タブの［ウォーターマーク］オプションバーをクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの追加」画面で［テキスト］を入力し［フォント］、［サイズ］他を選択します。

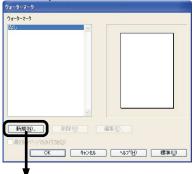
❼ ［OK］をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

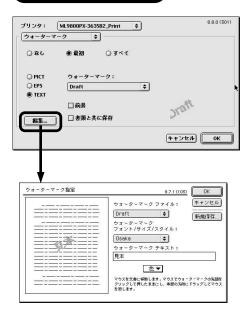
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［ウォーターマーク］パネルで［最初］か［すべて］を選択し、［TEXT］を選択します。
［最初］を選択すると、ウォーターマークを最初のページにだけ印刷します。

前景
ウォーターマークをページ上の前面に印刷します。
書類と共に保存
書類とともにウォーターマークパネルの設定を保存します。

❹ ［編集］をクリックします。

❺ ［ウォーターマークテキスト］を入力し［ウォーターマークフォント / サイズ / スタイル］、［色］を選択します。
左のプレビュー画面上をクリックするとその場所にウォーターマークが配置されます。

❻ ［新規保存］をクリックします。

アプリケーションによっては保存できない場合があります。

❼ ［新規ウォーターマーク名］を入力し、［OK］をクリックします。

ウォーターマークの印刷後は必ず［ウォーターマーク］パネルで［なし］を選択してください。

メモ　画像をウォーターマークにする方法

❶ ウォーターマークにする画像ファイル（PICT または EPS 形式）を用意します。
❷ 画像ファイルを［システムフォルダ］-［初期設定］-［ウォーターマーク］フォルダに入れます。
❸ アプリケーションを起動します。
❹ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。
❺ ［ウォーターマーク］パネルで［最初］または［すべて］を選択します。
❻ ［PICT］または［EPS］を選択し、［ウォーターマーク］から、画像を選択します。
ウォーターマークは用紙の中央に配置されます。

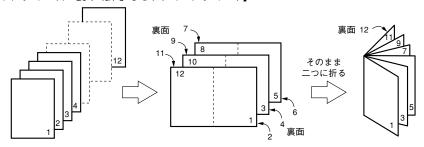
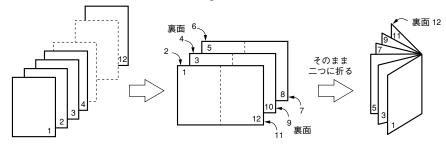
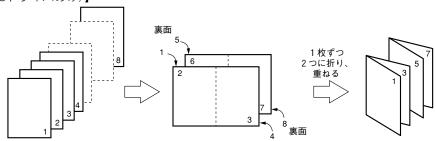
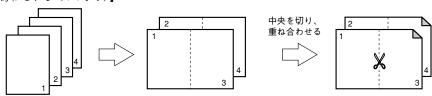
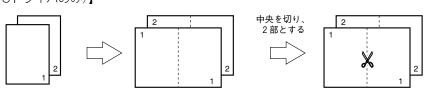
Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

小冊子を作る(製本印刷)

パンフレットのような小冊子を作成します。MLPro9800PS-S/-Eではオプションの「両面印刷ユニット」と「増設メモリ」が必要です。プリンタドライバで「両面印刷ユニット」と「増設メモリ」を取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- フィニッシャーユニット(オプション)を取り付けることで、小冊子をホチキスで綴じることができるようになります。詳しくはフィニシャーユニットのユーザーズマニュアルをご覧ください。

【標準製本(PSドライバ)/製本(折丁なし)(PCLドライバ)】

【右とじ(PSドライバ)/右開き指定(PCLドライバ)】

【無線とじ(PSドライバのみ)】

【スピード印刷(PSドライバのみ)】

【ダブル印刷(PSドライバのみ)】

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

- MLPro9800PS-Eでは、内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことを設定します。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 接続タイプ（キュー）で「直接接続」を選んでいる場合には利用できません。
- アプリケーション自身でPostScriptを生成する場合でPSエラー「undefined」が発生して印刷されない場合には、アプリケーションが生成するPostScriptのフォントやリソースがページ単位で送信されるように設定する必要があります。該当する設定については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。

❺ ［印刷サイズ］（スクロールが必要）で、印刷する用紙サイズを選択します。

- 作成される小冊子が原稿サイズの半分の大きさでよい場合には［原稿サイズと同じ］のままとします。
- 原稿サイズと同じ大きさの小冊子とする場合には用紙サイズの2ページ分の大きさの用紙を選択します。
  例えば、A4サイズの小冊子を作る場合は［A3 SEF］を、B5サイズの小冊子を作る場合は［B4］を選択します。
- 「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合、［用紙サイズ］のA4/レターについてはA4（縦送り）/レター（縦送り）に置き変わります。

❻ ［Fiery印刷］タブの［仕上げ］オプションバーをクリックします。

❼ ［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合には、［排出先］（スクロール必要）で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。

❽ ［製本メーカー］（スクロールが必要）で「標準製本」などの製本タイプを選択します。
手順❺で［原稿サイズと同じ］としている場合［面付け縮小］のチェックを付けます。
手順❺で作りたい小冊子の用紙サイズを2ページ分の大きさの用紙サイズを選択している場合には［面付け縮小］のチェックを外します。

クリープ補正
製本印刷時に、中央のマージンを紙の厚さを考慮して広げる場合に指定します。

面付け縮小
［オン］の場合、ドキュメントのイメージサイズを自動的に1/2にスケールダウンします。［オフ］の場合は、ドキュメントのイメージサイズは縮小されずにオリジナルの大きさで印刷されます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

- WindowsXP/2000/NT4.0 /Server2003でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000/Server2003で[製本印刷]が選択できない場合は、[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダの[OKI MICROLINE ***(PCL)](***はプリンタ名)アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で[MLLAPP3]を選択してください。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
3. [プロパティ] (WindowsXP/Server2003では [詳細設定]) をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
4. [設定] タブの [レイアウトタイプ] で [製本印刷] を選択します。
5. [詳細設定] をクリックし、必要に応じて [折丁]、[2up]、[右開き]、[とじ代] を設定します。

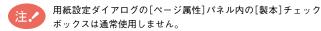
   折丁　製本するページの単位です。
   右開き　小冊子が右開きになるよう印刷します。

6. [設定] タブの [サイズ] で用紙サイズを選択し、[オプション] をクリックして [用紙サイズを変換する] にチェックを付けて、[変換] で該当する値を選択します。
例えば、A3 サイズの用紙を使用してA4 サイズの小冊子を作る場合は、[変換] で [A3 → A4] を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ(製本とじ)を行う場合

- [用紙サイズ]もしくは[変換]で指定されているA4/レターについてはA4(縦送り)/レター(縦送り)に置き変わります。
- [印刷オプション]タブの[ホチキス]で[二箇所]、[排出先]で[フィニッシャ(フェイスダウン)]、[綴じ位置]で[中綴じ(製本時)]を選択してください。

MacOSをお使いの方

- MLPro9800PS-Eではオプションの「内蔵ハードディスク」が必要です。プリンタドライバで「ハードディスク」を取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 接続タイプ（キュー）で「直接接続」を選んでいる場合も、用紙設定ダイアログの[ページ属性]パネルで[製本]にチェックしてください。
- アプリケーション自身でPostScriptを生成する場合でPSエラー「undefined」が発生して印刷されない場合には、アプリケーションが生成するPostScriptのフォントやリソースがページ単位で送信されるように設定する必要があります。該当する設定については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- ダウンロードフォントを使用している場合でPSエラーが発生する場合には、[ファイル]メニュー→[用紙設定]→[PostScriptオプション]→[ダウンロード可能フォントの制限なし]をチェックしてください。

❶ 印刷するファイルを開きます。

用紙設定ダイアログの[ページ属性]パネル内の[製本]チェックボックスは通常使用しません。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プリンタ固有機能］パネルの［印刷サイズ］で、印刷する用紙サイズを選択します。

- 作成される小冊子が原稿サイズの半分の大きさでよい場合には[原稿サイズと同じ]のままとします。
- 原稿サイズと同じ大きさの小冊子とする場合には用紙サイズの2ページ分の大きさの用紙を選択します。
  例えば、A4サイズの小冊子を作る場合は[A3 SEF]を、B5サイズの小冊子を作る場合は[B4]を選択します。

- 「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合、[ファイル]メニュー→[用紙設定]→[用紙]のA4/レターについては必ずA4（縦送り）/レター（縦送り）を選択してください。
- 「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合で原稿サイズがA4もしくはレターである場合には、[ファイル]→[用紙（ページ）設定]→[用紙サイズ]でA4（縦送り）もしくはレター（縦送り）を選択してください。横送りの用紙を指定してしまうと[ホチキス止め]で[中綴じ]を選択できません。

❹ ［仕上げ］パネルの［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合には、[排出先]（スクロール必要）で[フィニッシャ（フェイスダウン）]、[ホチキス止め]で[中綴じ]を選択します。指定順番は[排出先]、[ホチキス止め]の順番で指定してください。

❺ ［仕上げ］パネルの［製本メーカー］で［標準製本］などの製本タイプを選択します。
手順❸で［原稿サイズと同じ］としている場合［面付け縮小］を［オン］にします。
手順❸で作りたい小冊子の用紙サイズを2ページ分の大きさの用紙サイズを選択している場合には［面付け縮小］（スクロール必要）を［オフ］にします。

クリープ補正
製本印刷時に、中央のマージンを紙の厚さを考慮して広げる場合に指定します。

面付け縮小
[オン]の場合、ドキュメントのイメージサイズを自動的に1/2にスケールダウンします。[オフ]の場合は、ドキュメントのイメージサイズは縮小されずにオリジナルの大きさで印刷されます。

Mac OS Xをお使いの方

- MLPro9800PS-Eではオプションの「内蔵ハードディスク」が必要です。プリンタドライバで「ハードディスク」を取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 接続タイプ（キュー）で「直接接続」を選んでいる場合には利用できません。
- アプリケーション自身でPostScriptを生成する場合でPSエラー「undefined」が発生して印刷されない場合には、アプリケーションが生成するPostScriptのフォントやリソースがページ単位で送信されるように設定する必要があります。該当する設定については、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［用紙トレイ2］機能セットの［印刷サイズ］で、印刷する用紙サイズを選択します。

- 作成される小冊子が原稿サイズの半分の大きさでよい場合には［原稿サイズと同じ］のままとします。
- 原稿サイズと同じ大きさの小冊子とする場合には用紙サイズの2ページ分の大きさの用紙を選択します。
  例えば、A4サイズの小冊子を作る場合は［A3 SEF］を、B5サイズの小冊子を作る場合は［B4］を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合で原稿サイズがA4もしくはレターである場合には、［ファイル］→［ページ設定］→［用紙サイズ］でA4（縦送り）もしくはレター（縦送り）を選択してください。横送りの用紙を指定してしまうと［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択できません。

❹［プリンタの機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットの［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

「フィニッシャー」オプションをお使いの場合で中綴じ（製本とじ）を行う場合には、［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。指定順番は［排出先］、［ホチキス止め］の順番で指定してください。

❺［プリンタの機能］パネルの［仕上げ2］機能セットの［製本メーカー］で［標準製本］などの製本タイプを選択します。
手順❸で作りたい小冊子の用紙サイズを2ページ分の大きさの用紙サイズを選択している場合には［面付け縮小］（スクロール必要）を［オフ］にします。
手順❸で［原稿サイズと同じ］としている場合［面付け縮小］を［オン］にします。

クリープ補正
　製本印刷時に、中央のマージンを、紙の厚さを考慮して広げる場合に指定します。

面付け縮小
　［オン］の場合、ドキュメントのイメージサイズを自動的に1/2にスケールダウンします。［オフ］の場合は、ドキュメントのイメージサイズは縮小されずにオリジナルの大きさで印刷されます。

トナーを節約して印刷する（トナーセーブ）

試し印刷の時などにトナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によって異なります。

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが「グレースケール」の時は有効になりません。
- PostScriptでCMYK印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYKで印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScriptでグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIEカラースペースで印刷データを作成するOSやアプリケーションでは無効となります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません）
4. ［Fiery印刷］タブの［画像品質］オプションバーをクリックします。
5. ［トナーセーブ］（スクロールが必要）で［オン］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

MacOSをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［画像品質］パネルの［トナーセーブ］で［オン］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ機能］パネルの［画像品質 2］機能セットの［トナーセーブ］で［オン］を選択します。

よりきれいに印刷する

MLPro9800PSでは階調性を重視した高精細印刷が可能です。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］（WindowsXP/Server2003 以外では［プロパティ］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［Fiery印刷］タブの［画像品質］オプションバーをクリックします。
5. ［印刷品位］で［高精細（多階調）］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］（WindowsXP/Server2003 以外では［プロパティ］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［高精細（多階調）］を選択します。

MacOSをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［画像品質］パネルの［印刷品位］で［高精細（多階調）］を選択します。

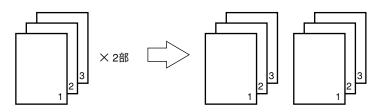
Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ機能］パネルの［画像品質 1］機能セットの［印刷品位］で［高精細（多階調）］を選択します。

文書を部単位で印刷(丁合印刷)

印刷データをプリンタのハードディスクにスプールして、部単位の印刷ができます。

- MLPro9800PS-Eでは内蔵ハードディスク(オプション)が必要です。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 接続タイプ(キュー)で「直接接続」を指定している場合には利用できません。
- PSプリンタドライバを利用する場合は、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
3. 印刷ダイアログ上に[部単位で印刷]のチェックボックスが存在する場合にはチェックを外します。

[部単位で印刷]にチェックを付けると、丁合処理にプリンタのハードディスクを利用しません。

4. [詳細設定] (WindowsXP/Server2003 以外では [プロパティ]) をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
5. [Fiery印刷] タブで [部数] に印刷部数を入力し、[仕上げ] オプションバーをクリックして [部単位で印刷] で [はい] を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
3. [詳細設定] (WindowsXP/Server2003 以外では [プロパティ]) をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
4. [印刷オプション] タブで [部数] に印刷部数を入力し、[部単位で印刷] にチェックを付けます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］のチェックを外します。

・［一般設定］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けると、丁合処理にプリンタのハードディスクを利用しません。

❹ ［仕上げ］パネルを選択し、［部単位で印刷］で［はい］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力し、［プリンタ機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

・［丁合い］にチェックを付けると、丁合処理にプリンタのハードディスクを利用しません。

パスワードを入力してから印刷(認証印刷)

印刷データをプリンタの内蔵ハードディスク(MLPro9800PS-Eではオプション)に保存し、プリンタの「操作パネル」でパスワードを入力してから印刷することができます。

- MLPro9800PS-Eでは内蔵ハードディスク(オプション)が必要です。この場合は、プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことを設定します。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 接続タイプ(キュー)で「直接接続」を指定している場合には利用できません。
- 内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、操作パネルに[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示して一部だけ印刷します。

1 アプリケーションから印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [詳細設定] (WindowsXP/Server2003 以外では [プロパティ]) をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

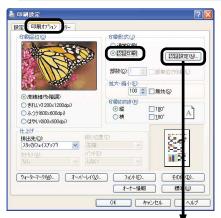
❹ [Fiery印刷] タブの [出力先] オプションバーをクリックします。

❺ [ジョブタイプ] で [認証印刷] を選択し、[ジョブ名]、[ジョブパスワード] を入力します。

ジョブパスワード
　4桁の数字で設定します。
ジョブ名
　最大16文字までの半角英数字で設定します。

❻ 印刷します。

87 ページへ進みます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］（WindowsXP/Server2003以外では［プロパティ］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
ジョブパスワード
4桁の数字で設定します。
ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

87ページへ進みます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［出力先］パネルの［ジョブタイプ］で［認証印刷］を選択します。

❹ ［Fieryジョブ注釈メモ］パネルで［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力し、［プリント］をクリックします。

メモ

ジョブパスワード
　4桁の数字で設定します。
ジョブ名
　最大16文字までの半角英数字で設定します。

87ページへ進みます。

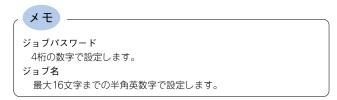
Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

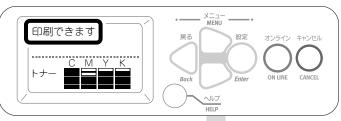
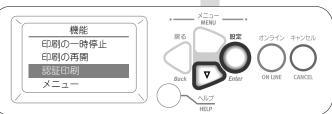
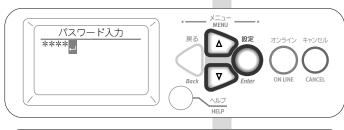
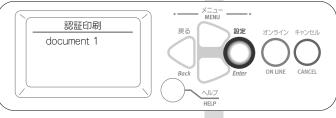
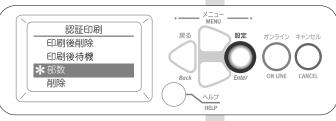
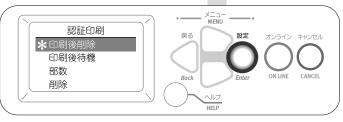
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［Fieryジョブ注釈メモ］パネルで右スクロールバーを下方に下げ、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

メモ

ジョブパスワード
　4桁の数字で設定します。
ジョブ名
　最大16文字までの半角英数字で設定します。

❹ ［プリンタの機能］パネルの［出力先］機能セットの［ジョブタイプ］で［認証印刷］を選択し、［プリント］をクリックします。

87ページへ進みます。

2 プリンタの「操作パネル」からパスワードを入力し、印刷します。

❶ 操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ボタンを数回押し、［認証印刷］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ , ボタンで数字を選び、設定ボタンを押すと次の行に移ります。
パスワードは４桁あります。
最後に設定ボタンを押します。

❹ 出力したいジョブを選択し、設定ボタンを押します。

❺ 複数部数出力したい場合には［部数］を選択して設定ボタンを押し、必要な部数を入力して設定ボタンを押します。（初期値は［1］に設定されています）

❻ 出力後、ハードディスクにデータを残したくない場合は［印刷後削除］を、ハードディスクにデータを残したい場合は［印刷後待機］を選択し、設定ボタンを押します。

認証印刷が行われます。
（［印刷後待機］を選択した場合は、同手順で繰り返し印刷できます。）

印刷を行わない場合は、手順❹で［削除］を選択し、設定ボタンを押します。

※　誤って入力したときは、戻るボタンを押し、入力し直してください。

表紙のみ別のトレイから給紙(表紙印刷)

表紙だけ、または1ページ目だけ用紙の厚さや色を変えて印刷したい時に、この機能を使います。
使用する用紙は、あらかじめプリンタにセットしておきます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

「PS印刷ガイド」の「用紙種類の混合」を参照してください。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

5. ［表紙印刷］の［1 ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

給紙方法でメディアタイプを指定せずに必ずトレイを指定してください。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙方法］で［1枚目］のラジオボタンをクリックし、［1枚目］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

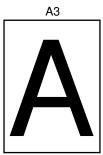
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［先頭のページのみ］をクリックし、［先頭ページのみ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

用紙サイズを変更して印刷する

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷します。

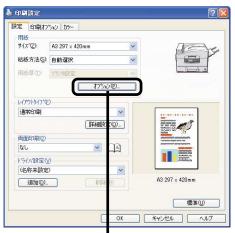
アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

PSドライバをお使いの場合、デフォルトの設定では[印刷]サイズで指定した用紙サイズで印刷されますが、ページイメージのサイズは[用紙サイズ]で指定した原稿サイズのままセンタリングされます。原稿サイズを印刷サイズに合わせて拡大・縮小させて印刷する場合には、プリンタの操作パネル(管理者メニュー)の[PS設定：用紙サイズに合わせる(自動拡大縮小)]を[オン]に設定してください。

A3

A4

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］（WindowsXP/Server2003 以外では［プロパティ］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。
5. ［印刷サイズ］で印刷する用紙サイズを選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。
5. ［オプション］をクリックします。
6. ［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、［変換］で印刷する用紙サイズを選択します。

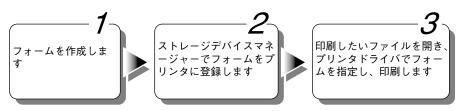
MacOSをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［プリンタ固有機能］パネルの［印刷サイズ］で印刷する用紙サイズを選択します。

Mac OS Xをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［プリンタの機能］パネルで［用紙トレイ2］機能セットを選択し、［印刷サイズ］で印刷する用紙サイズを選択します。

プリンタにフォームを登録して、印刷したい(フォームオーバーレイ)

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。
MLPro9800PS-Eでは内蔵ハードディスク(オプション)が必要です。

OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ユーティリティをインストール/起動/削除する(Windows)」(110ページ)をご覧ください。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

「PS印刷ガイド」の「差し込み印刷」を参照してください。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成します。

❶ [印刷先のポート] を [FILE:] にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力する」(196ページ)をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。
実際は、フォームの印刷は行わず、ファイルに保存します。
拡張子「prn」で適当なファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ [印刷先のポート] を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶ [スタート] - [プログラム] (WindowsXP/Server2003では [すべてのプログラム]) - [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷ [プリンタの検索] 画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

メモ
WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」(218ページ)をご覧ください。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ [ファイル] メニューから [プロジェクトの新規作成] を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、［ID］に任意の数字を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

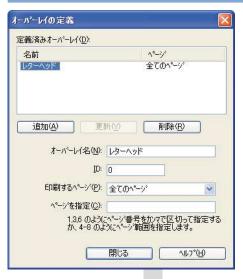
3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

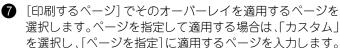
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

❺ 「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックを付け、［オーバーレイの定義］をクリックします。

❻ ［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。
オーバーレイはフォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ ［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽ ［追加］をクリックします。

❾ ［閉じる］をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⓫ 印刷します。

MacOSをお使いの方

「PS印刷ガイド」の「差し込み印刷」を参照してください。

Mac OS Xをお使いの方

「PS印刷ガイド」の「差し込み印刷」を参照してください。

「トレイ」を自動で選択する

指定した用紙サイズに一致する「トレイ」(トレイ1〜5、マルチパーパストレイ)を自動的に選択して印刷できます。

- プリンタの「操作パネル」で、「マルチパーパストレイ」の用紙サイズを設定しておく必要があります。
- 「操作パネル」で[メディアタイプ]を[フツウシ]以外に設定している場合は、[自動選択]ではなく、直接「トレイ」を指定してください。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］(WindowsXP/Server2003では［詳細設定］)をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ ［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。

❺ ［用紙トレイ］で［自動選択］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］(WindowsXP/Server2003では［詳細設定］)をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［全体］を選択し、［自動選択］を選択します。

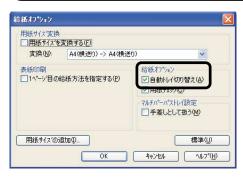
同じ用紙サイズを大量に印刷する（自動トレイ切替）

「トレイ1～5」、「マルチパーパストレイ」に同じ用紙をセットしておくと、印刷中のトレイが空になっても、継続して他のトレイから給紙印刷します。

- 印刷する前に、必ずプリンタの「操作パネル」で、各「トレイ」のメディアウエイト、メディアタイプと「マルチパーパストレイ」の用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを同一に設定してください。
- A4、B5、レター用紙を使う場合は、各トレイに同じ向きでセットしてください。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。
5. ［自動トレイ切り替え］で［オン］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［設定］タブの［オプション］をクリックします。
5. ［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ固有機能］パネルの［自動トレイ切り替え］で［オン］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルで［用紙トレイ2］機能セットを選択し、［自動トレイ切り替え］で［オン］を選択します。

手差しで1枚ずつ印刷する

コンピュータから手差しを指定して印刷し、マルチパーパストレイに用紙をセットしてからオンラインボタンを押し、1枚ずつ印刷します。

1 ファイルを開いて、手差しを指定し印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］(WindowsXP/Server2003では［詳細設定］)をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
❹ ［Fiery印刷］タブの［用紙トレイ］オプションバーをクリックします。
❺ ［用紙トレイ］で［手差し］を選択します。
❻ 印刷します。

手順２（101 ページ）へ進みます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］(WindowsXP/Server2003では［詳細設定］)をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)
❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。
❺ ［オプション］をクリックします。
❻ ［マルチパーパストレイの設定］で［手差しとして扱う］をチェックし、［OK］をクリックします。
❼ 印刷します。

手順２（101 ページ）へ進みます。

MacOSをお使いの方

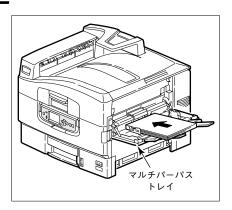
❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［給紙方法］で［手差し］を選択します。
❹ ［プリント］をクリックします。

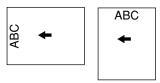
手順２へ進みます。

Mac OS Xをお使いの方

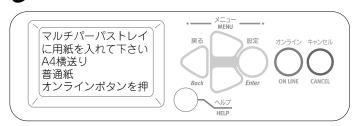
❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［給紙］パネルの［手差し］を選択します。
❹ ［プリント］をクリックします。

手順２へ進みます。

2 マルチパーパストレイを開き、用紙をセットします。

用紙のセット方向

印刷面を上にします

（A4、B5、レター横送りの場合）

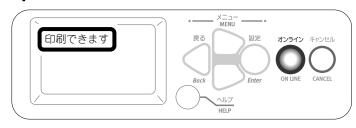
フェイスアップスタッカに排出する場合は、フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルを確認します。

❶ 操作パネルに左のように表示していることを確認します。

❷ 表示している用紙サイズと、マルチパーパストレイにセットした用紙サイズが一致していることを確認します。

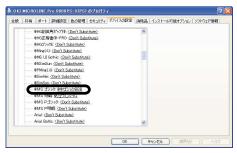
4 印刷します。

❶ オンラインボタンを押すと、印刷を開始します。

印刷を中止したいときは、キャンセルボタンを押します。

プリンタのフォントで印刷する

TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

1. ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）
2. ［OKI MICROLINE ***(PS)(***はプリンタ名)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。
4. アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
5. ［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
6. ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。
7. ［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

1. ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
2. ［OKI MICROLINE ***(PS)(***はプリンタ名)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［フォント］タブの［TrueTypeフォントをプリンタフォントで代替］を選択します。

すべてのTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えることはできません。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)(***はプリンタ名)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］でTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、[OK]をクリックします。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［グラフィックス］の［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］(WindowsXP/Server2003では［詳細設定］)をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻ ［フォント置き換えテーブル］でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

MacOSをお使いの方

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントの置き換え...］を選択します。

❸ ［ホスト側で選択したフォント］ごとに、［置換する］または［置換しない］をクリックします。

❹ ［フォント置き換えを有効にする］にチェックを付けます。

❺ ［保存］をクリックします。

MLPro9800PS-Eでは、オプションのハードディスクが必要です。ハードディスクが搭載されていない場合、設定された内容は電源をOFFにすると失われます。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

置き換えフォント一覧表

【MLPro9800PS-X、MLPro9800PS-S】

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	中ゴシック体
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	中ゴシック体
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	−
等幅ゴシック	−	PS	−
Osaka	Osaka Regular	TT	中ゴシック体
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	中ゴシック体
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	細明朝体
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	細明朝体
細明朝体	Ryumin Light	PS	−
等幅明朝	−	PS	−
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	中ゴシック体
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	細明朝体
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	細明朝体
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PS	−
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PS	−
見出ゴMB31	MidashiGo-MB31	PS	−
見出ミンMA31	MidashiMin-MA31	PS	−
丸ゴシック-M	MaruGothic-Medium	TT	しじゅん101

TT：TrueTypeフォント
PS：PostScriptフォント

【MLPro9800PS-E】

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体W5
等幅ゴシック	−	PS	平成角ゴシック体W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体W5
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体W5
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体W3
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体W3
等幅明朝	−	PS	平成明朝体W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体W3
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体W3
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体W5
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体W3
見出ゴMB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体W5
見出ミンMA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体W3
丸ゴシック-M	MaruGothic-Medium	TT	−

TT：TrueTypeフォント
PS：PostScriptフォント

コンピュータのフォントで印刷する

TrueTypeフォントを画面表示のままに出力します。

印刷時間が長くなることがあります。

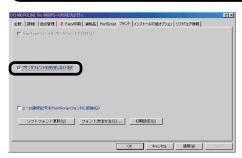
WindowsXP/2000/Server2003/NT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ （WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［PostScript］タブの［TrueType フォント設定］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

WindowsMe/98 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［フォント］タブの［プリンタフォントを使用しない］にチェックを付けます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。
ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

MacOSをお使いの方

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[フォントの置き換え...]を選択します。

❸ ［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

❹ ［保存］をクリックします。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

アプリケーション別の対応

PSプリンタドライバを使って印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Windowsをお使いの方

Adobe PageMaker 7.0/6.5/6.0J

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0Jで印刷するには、PPDファイルのインストールが必要です。

1. 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
2. CD-ROM のアイコンを開きます。

WindowsXP をお使いの方

［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブルメディアのある領域］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

［マイコンピュータ］-［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

3. ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。
4. 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。
5. ［その他各種ユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

6. ［PPD ファイル］を選択し、［インストール］をクリックします。
7. 「インストール先の選択」画面が表示されたら、［参照］をクリックして、インストールするフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

PageMaker7.0Jの場合
  pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.5Jの場合
  pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.0Jの場合
  pm6¥rsrc¥ppd4

❽ ［次へ］をクリックします。
PPD ファイルがインストールされます。

❾ ［完了］をクリックします。

❿ ［終了］をクリックします。

⓫ PageMaker の［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

⓬ ［プリンタ］と［形式］で［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）を選択します。
［プリンタ］はプリンタドライバを、［形式］はPPD ファイルを意味しています。

⓭ ［印刷］をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J

- カラーマッチングを行うには、[補助]メニューの[Xtentionマネジャー]で[Quark CMS]がONになっている必要があります。
- [ファイル]メニューの[印刷]-[出力]パネルで[ハーフトーン]を必ず[プリンタ]にしてください。[計算値]にすると印刷が粗くなります。
- MacintoshとUSBで接続している場合は[ファイル]メニューの[印刷]-[プリンタフォント]タブでプリンタフォントを検索することができません。
プリンタフォントを使うときは[プリンタフォント]タブの[ポストスクリプト印刷]の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop CS/7.0/6.0/5.5/5.0J

- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。
- Adobe Photoshopで分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することはできません。

Adobe Illustrator CS/10.0/9.0/8.0/7.0J

- [ファイル]メニューの[書類設定]で[プリンタの初期設定値を使う]を必ずONにしてください。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- プリンタに搭載されていないフォントを含む書類を印刷する場合には、印刷ダイアログの[フォントのダウンロード]をチェックしてください。（CSでは[グラフィック]パネルの[（フォント）ダウンロード]で[なし]以外を選択してください。）
- プリンタの操作パネル[管理者メニュー]-[PS設定]-[中ゴシックBBBに置換]の設定は必ず[はい]を設定してください。

Adobe Acrobat Professional 7.0/6.0/5.0J、Adobe Reader 7.0/6.0J、Acrobat Reader 5.0J

- Adobe Acrobat Professionalで分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することができません。
- 製本印刷を指定する場合には印刷ダイアログの「詳細設定：PostScriptオプション：フォントとリソースのポリシー」を「ページごとに送信」に設定して印刷してください。

Macintoshをお使いの方

QuarkXPress 4.1/4.0J

- カラーマッチングを行うには、[補助]メニューの[Xtentionマネジャー]で[Quark CMS]がONになっている必要があります。
- [ファイル]メニューの[印刷]-[出力]パネルで[ハーフトーン]を必ず[プリンタ]にしてください。[計算値]にすると印刷が粗くなります。
- MacintoshとUSBで接続している場合は[ファイル]メニューの[印刷]-[プリンタフォント]タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは[プリンタフォント]タブの[ポストスクリプト印刷]の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop CS/7.0/6.0/5.5/5.0J

- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。
- Adobe Photoshopで分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することはできません。

Adobe Illustrator CS/10.0/9.0/8.0/7.0J

- [ファイル]メニューの[書類設定]で[プリンタの初期設定値を使う]を必ずONにしてください。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- プリンタに搭載されていないフォントを含む書類を印刷する場合には、印刷ダイアログの[フォントのダウンロード]をチェックしてください。(CSでは[グラフィック]パネルの[(フォント)ダウンロード]で[なし]以外を選択してください。)
- プリンタの操作パネル[管理者メニュー]-[PS設定]-[中ゴシックBBBに置換]の設定は必ず[はい]を設定してください。

Adobe Acrobat Professional 7.0/6.0/5.0J、Adobe Reader 7.0/6.0J、Acrobat Reader 5.0J

- Adobe Acrobat Professionalで分版出力したジョブは、色分解の組み合わせを「オン」に設定して印刷しても、分版合成で出力することができません。
- 製本印刷を指定する場合には印刷ダイアログの「詳細設定：PostScriptオプション：フォントとリソースのポリシー」を「ページごとに送信」に設定して印刷してください。

黒の部分の仕上りを変更する

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。

テキストとグラフィックスに純ブラック使用(グラフィックスに純ブラックを使用)

テキストやグラフィックスにRGB色空間で定義されたブラック(R=0、G=0、B=0)またはCMYK色空間で定義されたブラック(C=0、M=0、Y=0、K=100%)が指定されている場合に、黒(K)トナーのみで印刷するかどうかを指定します。

・オン
　黒指定のテキストやグラフィックスを黒(K)トナーのみで印刷します。
・オフ
　黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングで指定しているプロファイルに依存して黒(K)トナーのみまたはCMYKで合成された黒になります。

PCLプリンタドライバではテキストは常に黒(K)トナーのみで印刷されます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［Fiery印刷］タブで［ColorWise］オプションバーを選択し、［エキスパート設定］をクリックします。
5. ［テキストと画像に純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

 本設定についての詳細は「カラーガイド」を参照ください。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブで［マニュアル設定］を選び、［詳細］をクリックします。
5. ［グラフィックスに純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

注 ［カラー］タブで［推奨］を選択した場合、本設定は［オン］として扱われます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ColorWise］パネルを選択し、右スクロールバーで下方の項目を表示させます。

❹ ［テキストと画像に純ブラック使用］で適当な項目を選択します。

注 本設定についての詳細は「カラーガイド」を参照ください。

Mac OS Xをお使いの方

Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで常に「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースやCMYKカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ColorWise］パネルを選択します。

❹ ［印刷モード］で［設定］ボタンをクリックし、［テキストと画像に純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

注 本設定についての詳細は「カラーガイド」を参照ください。

メモ

テキストとグラフィックスに純ブラック使用

テキストやグラフィックスにRGB色空間で定義されたブラック（R=0、G=0、B=0）またはCMYK色空間で定義されたブラック（C=0、M=0、Y=0、K=100%）が指定されている場合に、黒（K）トナーのみで印刷するかどうかを指定します。

- オン
  黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K）トナーのみで印刷します。
- オフ
  黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングに指定しているプロファイルに依存して黒（K）トナーのみまたはCMYKで合成された黒になります。

カラーデータを白黒で印刷する

カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）
をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［Fiery印刷］タブで［ColorWise］オプションバーをクリックし、［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ColorWise］パネルの［カラーモード］で［グレースケール］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ColorWise］パネルを選択します。

❹［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

システム別使用可能な機能一覧

プリンタドライバの種類(PSまたはPCL)とお使いのシステムによって、使える機能が異なります。

×:利用できません
○:利用できます

	Windows XP/2000/Server2003 PS	Windows Me/98 PS	Windows NT4.0 PS	Windows PCL	MacOS 9.2～9.2.2	Mac OS X 10.2.4～10.2.8	Mac OS X 10.3～	参照ページ
複数ページを1枚に印刷する	○	○	○	○	○	○	○	64ページ
複数枚に拡大して印刷(ポスター印刷)	×	×	×	○	○	×	×	66ページ
用紙の両面に印刷する(両面印刷)	○	○	○	○	○	○	○	68ページ
スタンプ印刷(ウォーターマーク)	×	○	×	○	○	×	×	70ページ
小冊子を作る(製本印刷)	○	○	○	○	○	○	○	73ページ
トナーを節約して印刷する	○	○	○	×	○	○	○	78ページ
よりきれいに印刷する	○	○	○	○	○	○	○	80ページ
文書を部単位で印刷(丁合印刷)	○	○	○	○	○	○	○	82ページ
パスワードを入力してから印刷(認証印刷)	○	○	○	○	○	○	○	84ページ
表紙のみ別のトレイから給紙(表紙印刷)	○	○	○	○	○	○	○	88ページ
用紙サイズを変更して印刷する	○	○	○	○	○	○	○	90ページ
プリンタにフォームを登録して、印刷したい(フォームオーバーレイ)	○	○	○	○	○	○	○	92ページ
「トレイ」を自動で選択する	○	○	○	○	○	○	○	95ページ
同じ用紙サイズを大量に印刷する(自動トレイ切替)	○	○	○	○	○	○	○	97ページ
プリンタフォントに置き換えて印刷する	○	○	○	○	○	×	×	102ページ
コンピュータのフォントで印刷する	○	○	○	○	○	×	×	105ページ
プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する	○	○	○	○	×	○	○	193ページ
プリンタドライバの初期設定を変更する	○	○	○	○	○	○	○	195ページ
印刷データをファイルに出力する	○	○	○	○	○	○	○	196ページ
プリンタドライバを削除する	○	○	○	○	○	○	○	205ページ
プリンタドライバを更新(アップデート)する	○	○	○	○	○	○	○	208ページ

3 添付のユーティリティについて

ユーティリティの種類

プリンタソフトウェアCD-ROMおよびプリンタユーティリティCD-ROMには、以下のユーティリティが入っています。プリンタをより快適にお使いいただくためにご活用ください。

ユーティリティの種類と機能(Windows)

カラーユーティリティ

名　称	機能(用途)	動作環境	掲載ページ
色見本印刷ユーティリティ	プリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。 印刷された見本を基にアプリケーション上で希望する色のRGB成分値を指定することができます。	Windows XP/Server 2003/Me/98/2000/NT4.0	203ページ
ColorWise Pro Tools	Calibrator、Color Editor、Profile Manager、Spot-On、Color Setupの5つのカラー管理ツールを持ちます。Calibratorはさまざまなキャリブレーション方法をシンプルなインタフェースで提供します。Color EditorはICCプロファイルとカラー曲線のカスタマイズ、保存を可能にします。Profile ManagerはICCソース、シュミレーション、出力デバイスプロファイルのダウンロードおよび管理を可能にします。Spot-On はスポットカラー辞書の編集、登録を可能にします。Color Setupはプリンタの各種ColorWiseのデフォルト設定を変更します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/2000/NT4.0	「カラーガイド」参照

ネットワークユーティリティ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
AdminManager（NICセットアップユーティリティ）	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使用します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	127ページ
OKI LPRユーティリティ	プリントサーバを設置することなくWindowsプラットホームからTCP/IPダイレクト印刷が可能です。その他プリンタ検索機能、ジョブ転送機能、同報印刷機能などを装備しています。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	137ページ
Network Extension	ネットワーク接続されたプリンタドライバの機能を拡張し、プリンタに搭載されたオプション、各トレイ内の用紙サイズ、トナー残量などのプリンタ情報を表示・設定に反映できます。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	148ページ
Print Super Vision	自分のデスクからパソコンの画面でプリンタの各種設定、管理を行えます。用紙切れや用紙詰まり等の発生をメールで通知するため迅速なトラブル対応が可能です。	Windows XP Professional/Server 2003/2000（IIS5.0、IE4.0以降搭載）	150ページ
Web Driver Installer	新しくネットワークに接続されたプリンタを自動的に検索し、プリンタ情報を登録ユーザにメールで通知します。ユーザはメールに添付されたURLをブラウザで表示してドライバをインストールすることができます。	サーバコンピュータ*1 クライアントコンピュータ*2	156ページ

＊1　Windows Server 2003/XP Professional/2000/NT4.0サーバ（サービスパック6a）が搭載されていて、Microsoftインターネットインフォメーションサーバと、MDAC 2.6以上が搭載されている機種
*2　Windows OS（IE5.5以降、NN6以降）を搭載している機種

その他のユーティリティ

名　称	機能(用途)	動作環境	掲載ページ
Command WorkStation 4	プリントジョブの完全集中管理を可能にする、機能性が高く、使いやすいジョブ管理ツールです。書類のマージ、編集、ページの追加/削除、プリント設定の変更/書き換え、キュー内でのジョブプリント順の変更、ジョブのアーカイブなどの機能を使用できます。	Windows XP/Server 2003/Me/98/2000/NT4.0	「ジョブ管理ガイド」参照
Fiery Downloader	PS/PDFファイルをアプリケーションを起動せずにプリンタに直接送信して印刷します。また、ハードディスクに搭載されたプリンタフォントのバックアップなどのフォント管理に使用します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/2000/NT4.0	「PS印刷ガイド」参照
HotFolder *3	生成されたフォルダにPS/PDFファイルをドラッグ＆ドロップすることでプリンタに直接送信して印刷します。フォルダごとに印刷設定や面付け機能の設定が可能です。プリントオプションの設定を自動化して印刷するのに便利です。	Windows XP/Server 2003/Me/98/2000/NT4.0	「PS印刷ガイド」参照

*3　MLPro9800PS-Xモデルのみで動作します。

ユーティリティの種類と機能(Macintosh)

ユーティリティ	機能(用途)	動作環境	掲載ページ
MicrolinePS Utility	プリンタの設定や、ポストスクリプトファイルやPDFファイルのダウンロードをしたいときに使います。	MacOS 8.1〜9.2.2 Mac OS X Classic環境(USB接続時は9.0〜9.2.2)	167ページ
Setup Utility	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使います。	MacOS 8.1〜9.2.2 Mac OS X Classic環境	169ページ

カラーユーティリティ

名　称	機能(用途)	動作環境	掲載ページ
ColorWise Pro Tools	Calibrator、Color Editor、Profile Manager、Spot-On、Color Setupの5つのカラー管理ツールを持ちます。Calibratorはさまざまなキャリブレーション方法をシンプルなインタフェースで提供します。Color EditorはICCプロファイルとカラー曲線のカスタマイズ、保存を可能にします。Profile ManagerはICCソース、シュミレーション、出力デバイスプロファイルのダウンロードおよび管理を可能にします。Spot-Onはスポットカラー辞書の編集、登録を可能にします。Color Setupはプリンタの各種ColorWiseのデフォルト設定を変更します。	MacOS 9.2〜9.2.2 Mac OS X Classic環境*4	「カラーガイド」参照

*4　Calibrator、およびSpot-Onの測色機によるスポットカラー辞書の編集機能は除きます(動作しない場合があります)。

その他のユーティリティ

名　称	機能(用途)	動作環境	掲載ページ
Command Workstation LE	プリントジョブの完全集中管理を可能にする、機能性が高く、使いやすいジョブ管理ツールです。書類のマージ、編集、ページの追加/削除、プリント設定の変更/書き換え、キュー内でのジョブプリント順の変更、ジョブのアーカイブなどの機能を使用できます。	Mac OS X 10.2.4〜10.4.2	「ジョブ管理ガイド」参照
Fiery Spooler	印刷ジョブの順番や優先度の表示や、ジョブの印刷設定の変更、ジョブの削除、キュー間のジョブの移動などを可能にします。	MacOS 9.2〜9.2.2	「ジョブ管理ガイド」参照
Fiery Downloader	PS/PDFファイルをアプリケーションを起動せずにプリンタに直接送信して印刷します。また、ハードディスクに搭載されたプリンタフォントのバックアップなどのフォント管理に使用します。	MacOS 9.2〜9.2.2	「PS印刷ガイド」参照

インストール

❶ コンピュータに「プリンタソフトウェアCD-ROM」、もしくは「プリンタユーティリティ CD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

WindowsXP/Server2003をお使いの方

［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0をお使いの方

［マイコンピュータ］を開き、［ML_ COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺ インストールしたい項目を選択し、［選択］をクリックします。

❻ インストールしたいユーティリティを選択し、［インストール］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面で［終了］をクリックします。

起動方法

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP/Server2003では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［起動するユーティリティのフォルダ］-［起動するユーティリティ］もしくは［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［Fiery］-［起動するユーティリティ］を選択します。

削除方法

❶ ユーティリティを終了します。

❷ WindowsXP/Server2003 をお使いの方

［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 をお使いの方

［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］を選択します。

❸ 削除したいユーティリティを選択し、画面に従って削除します。

ユーティリティをインストール／起動／削除する(Macintosh)

サポートされていないOSバージョンにはそのユーティリティはインストールされません。動作環境については(119ページ)をご覧ください。

・プリンタドライバをインストールすると、MicrolinePS Utilityも同時にインストールされます。プリンタドライバのインストール方法は、「セットアップ編ーMacintosh、UNIX、Linuxをお使いの方ー」をご覧ください。
・MicrolinePS Utility以外のユーティリティは下記の手順でインストールしてください。

❶ コンピュータに「プリンタユーティリティCD-ROM」をセットします。
❷ [OS9]もしくは[OSX]フォルダ下の各ユーティリティ名称のインストーラをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。

❸ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意]をクリックします。
❹ インストール内容を確認し、[インストール]をクリックします。

❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

MacOSをお使いの方

- MicrolinePS Utility
  [起動ドライブ]- [MicrolinePS]- [MicrolinePS Utility]フォルダにインストールされます。
- ColorWise Pro Tools
  [起動ドライブ]- [Fiery]- [ColorWise Pro Tools]フォルダにインストールされます。
- Fiery Spooler
  [起動ドライブ]- [Fiery]- [Fiery Spooler フォルダ]フォルダにインストールされます。

Mac OS Xをお使いの方

- Command Workstation LE (CWS LE)
  [アプリケーション]- [Fiery]フォルダにインストールされます。

起動方法

上記各ユーティリティのフォルダ内のユーティリティアイコンをダブルクリックしてください。

- MicrolinePS Utilityを正常に起動するためには、事前にプリンタが選択されている必要があります。プリンタの選択方法は以下のとおりです。
  - ネットワーク接続の場合：セレクタで[AdobePS]をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。
  - USB接続の場合：デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、[プリンタ]メニューの[省略時プリンタに指定]を選択します。またプリンタ操作パネルでUSBポートの設定を直接キューに設定する必要があります。

- ColorWise ProToolsの使用方法については「カラーガイド3章：Fiery ColorWise ProTools」を参照ください。
- Command WorkStation LEの使用方法については「ジョブ管理ガイド4章：Command WorkStation LE（Mac OS X）」を参照ください。

PSドライバを削除する

Windows PSドライバを削除するには“FieryPrinterDeleteUtility”を使用します。
“FieryPrinterDeleteUtility”の起動は[スタート]-[プログラム]-[Fiery]-[FieryPrinterDeleteUtility]を選択します。
FieryPrinterDeleteUtilityがインストールされていない場合には、「プリンタソフトウェアCD-ROM」のセットアッププログラムを起動し、「その他各種ユーティリティのインストール」を選択してインストールしてください。プリンタ選択画面で削除するプリンタ名を選択し、[削除]をクリックします。以降、画面の指示に従います。

4 ネットワーク機能について

ネットワークユーティリティ機能一覧

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項目 ＼ ユーティリティ名	Admin Manager	OKI LPR ユーティリティ	Network Extension	Print Super Vision	Web Driver Installer	Webブラウザ	Setup Utility
プリンタのIPアドレスを変更する	○			○		○	○
プリンタの操作パネルのメッセージを表示する		○		○		○	
オプション品の自動設定			○		○		
消耗品情報			○	○		○	
メール送信機能（SMTP）				○	○	○	
プリンタのセキュリティ機能を設定する	○					○	
SNMPの使用		○	○	○	○	○	

Admin Managerを使って…

AdminManagerを起動するには

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

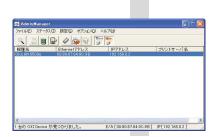
セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NICセットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

4

ネットワーク機能について

機能について

[ファイル] メニュー

AdminManagerを終了します。

[ステータス] メニュー

プリンタのネットワークの状態を表示します。

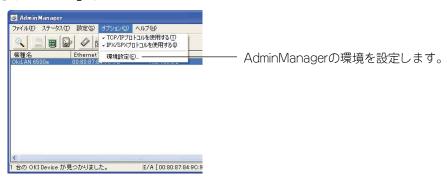
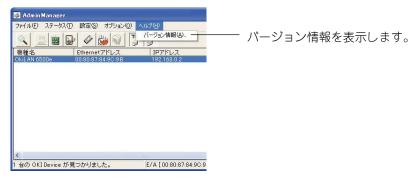
[設定] メニュー

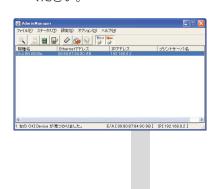
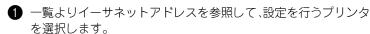
プリンタのネットワーク設定を行います。
「IPアドレス設定」は使用しません。

[オプション] メニュー

AdminManagerの環境を設定します。

[ヘルプ] メニュー

AdminManager
ファイル(F)
ステータス(T)
設定(S)
オプション(O)
ヘルプ(H)
バージョン情報(A)...
機種名
Ethernetアドレス
IPアドレス
OkiLAN 6500e
00:80:87:84:9C:9B
192.168.0.2
1 台の OKI Device が見つかりました。
E/A [00:80:87:84:9C:9
バージョン情報を表示します。

プリンタの設定をする

プリンタのネットワークの設定を行います。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(180ページ)をご覧ください。
Admin Managerは、ネットワーク設定のうちの、一部の機能のみ設定が可能です。
すべての機能を設定したい場合には、プリンタの操作パネル、又は、Webブラウザを使用した設定をご使用ください。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、MLPro9800PSの代わりにOkiLAN 6500eと表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。
- 初期設定では「DHCP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。
- TCP/IPが「DISABLE」に設定されている場合、IPアドレスが「0.0.0.0」と表示されます。この状態では、Admin Managerを使用した設定が行えません。プリンタの操作パネルで設定を行って下さい。

❷ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❸ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

- それぞれのタブ内で設定できる項目は次ページをご覧ください。

「初期化」ボタンを押すと、プリンタ全体の設定が「初期値」に戻ります。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❼ AdminManagerを終了します。

Generalタブ

パスワードを変更します。

SNMPタブ

SNMPを利用する場合に設定します。

TCP/IPタブ

IPアドレスなどの設定をします。

Maintenanceタブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

EtherTalkタブ

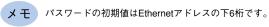
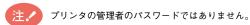
ゾーン名を変更する場合に設定します。

ネットワーク管理者用パスワードを変更する

❶ AdminManager を起動します。

❷ ［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択し、パスワードを入力して、［General］タブを選択します。

メモ　パスワードの初期値はEthernetアドレスの下6桁です。

注　プリンタの管理者のパスワードではありません。

❸ 「admin パスワード」の「変更」を選択します。

❹ 「古いパスワード」に今までに使用していたパスワードを、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」に任意のパスワードを入力し、［OK］を選択します。

❺ 「設定」を選択します。

❻ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

4
ネットワーク機能について

Quick Setupを使って…

プリンタのネットワークの簡易設定をします。

プリンタの簡易設定をする

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

4

ネットワーク機能について

❽ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

⓫ ［次へ］をクリックします。

⓬ 設定を行うプリンタのイーサネットアドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、MLPro9800PSの代わりにOkiLAN 6500eと表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。

⓭ TCP/IP の設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓮ EtherTalk の設定を行い、［次へ］をクリックします。

⓯ 設定内容を確認し、［実行］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰ 設定値を有効にするために、［完了］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

⓱ Quick Setup を終了します。

OKI LPRユーティリティを使って…

ネットワークに接続したプリンタに印刷する時に必要なユーティリティで、ネットワーク接続でプリンタドライバをインストールすると、自動的にインストールされます。
プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブ(データ)の削除や転送などができます。

動作環境

- WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
- TCP/IPで動作しているコンピュータ

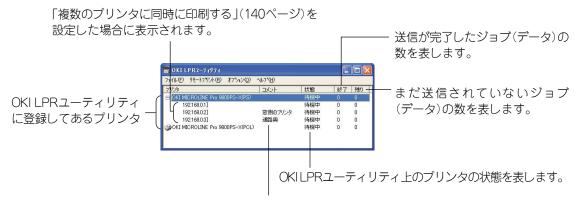
- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にOKI LPRユーティリティがインストールされます。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

OKI LPRユーティリティを起動する

WindowsXPをお使いの方

❶ [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [OKI LPR ユーティリティ] - [OKI LPR ユーティリティ] を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

❶ [スタート] - [プログラム] - [沖データ] - [OKI LPR ユーティリティ] - [OKI LPR ユーティリティ] を選択します。

下のような画面が表示されます。

注 この図は例です。実際にこの図のとおりに表示されるわけではありません。

プリンタの状態を確認する

プリンタの操作パネルに表示されているメッセージを表示します。

❶ プリンタを選択します。

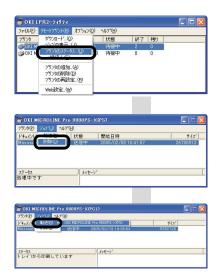
❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

ジョブを表示する、削除する、転送する

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめOKI LPRユーティリティにセットアップされている必要があります。

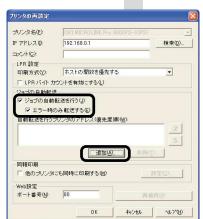
自動的にジョブを転送する

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

❺［追加］をクリックし、転送先のIPアドレスを設定します。

メモ ［検索］をクリックして、ネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ 転送先の優先順を変更するには、［自動転送を行うプリンタのアドレス］から優先順を変更するプリンタを選択し、横の［↑］ボタン、または［↓］ボタンをクリックします。
（［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります）

❼［OK］をクリックします。

複数のプリンタで同時に印刷する

一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺［追加］をクリックし、同時に印刷するプリンタのIPアドレスを設定します。

メモ　同時に印刷するプリンタに対しても、コメント（144ページ）を追加することができます。

❻ 追加したいプリンタ分、❺の操作を繰り返します。

メモ
- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

❼［OK］をクリックします。

印刷方式を変更する

印刷方式を以下の3通りから選択することができます。

- 印刷速度を優先する（直接接続）
  ジョブをプリンタのハードディスクにスプールしません。トータルの印刷時間が早くなります。
- ホストの開放を優先する（印刷キュー）
  ジョブを一旦プリンタのハードディスクにスプールしてから印刷します。ホストの開放が早くなります。
- プリンタに保存する（待機キュー）
  プリンタのハードディスク上にジョブを格納します。定型フォーマットの文書や繰り返し印刷される文書などを印刷する時に便利です。

- 「印刷速度を優先する」を選択した場合、認証印刷機能などのハードディスクを使った機能は動作しません。
- IPアドレスを手入力した場合は、本機能が有効にならない場合があります。その場合、一度OKボタンをクリックして、再度プリンタの再設定を行ってください。
- ハードディスクが付属していないプリンタに送信する場合、「印刷速度を優先する」を選択した場合と同じ動作になります。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

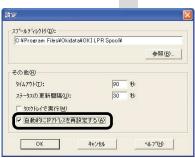
❸［詳細設定］ボタンをクリックします。

❹［印刷方式］を選択します。

自動的にIPアドレスをセットする

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

検索対象は、OKI LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

ファイルをプリンタへダウンロードする

ファイルに保存した印刷データ（184ページ）をプリンタにダウンロードし、印刷します。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

Webブラウザを起動する

OKI LPRユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うためのWebブラウザを起動します。

各設定の設定方法については「Webブラウザを使って…」(172ページ)を参照してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［Web 設定］を選択します。

4

ネットワーク機能について

コメントを追加する

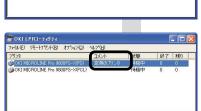
OKI LPRユーティリティに登録したプリンタに、コメントを追加することができます。

プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

❹［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

プリンタを追加する

印刷先のポートをOKI LPRポートに変更することができます。

すでにOKI LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷ ［プリンタ］を選択し、［IP アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

OKI LPRユーティリティをインストールする

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROM のアイコンを開きます。

WindowsXP をお使いの方

［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003 をお使いの方

［マイコンピュータ］を開き、［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❼ ［OKI LPRユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❽ すでにOKI LPRユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので［はい］をクリックします。

❾ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❿ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

⓬ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ［終了］をクリックします。

OKI LPRユーティリティを削除する

❶［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷［スタート］-［すべてのプログラム］（WindowsXP 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティの削除］を選択します。

❸［はい］をクリックします。

Network Extensionを使って…

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。
インストール方法は、120ページをご覧ください。

PSプリンタドライバではご利用できません。

プリンタの設定を確認する

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

(WindowsXPの画面)

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP/Server2003では［スタート］-［プリンタとFAX］）をクリックします。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)］(*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［オプション］タブをクリックします。

・Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

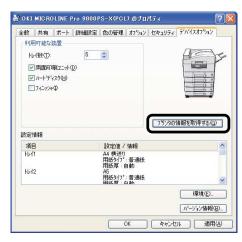
❹ ［更新］ボタンをクリックします。
「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

❺ ［OK］をクリックします。

［Web設定］ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザを使って…」(160ページ)をご覧ください。

オプションの自動設定をする

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］(WindowsXP/Server2003では［スタート］-［プリンタとFAX］）をクリックします。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹ ［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

❺ ［OK］をクリックします。

Print Super Visionを使って…

PrintSuperVisionは、ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrintSuperVisionにアクセスします。

動作環境

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「Windows Service Pack 2に関する制限事項」(218ページ)を参照してください。

WindowsXP Professional/2000(Service Pack 1以上)/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
Microsoftインターネットインフォメーションサーバ(IIS)以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ
ウィルスチェックソフト等によりアクティブサーバページ(ASP)の動作が阻害されない環境のコンピュータ

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「Windows Service Pack 2に関する制限事項」(218ページ)を参照してください。

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

PrintSuperVisionにアクセスするには

PrintSuperVisionがインストールされているコンピュータに、別のコンピュータからWebブラウザを起動し、アクセスします。

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］に、URL「http://PrintSuper Visionが起動しているコンピュータのIPアドレス/PrintSuperVision/」と入力し、Enterキーを押します。

例）コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合
http://192.168.0.3/PrintSuperVision/

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.3/
誤った入力値：http://192.168.000.003/

❸ ［ログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザ名］に「admin」、［パスワード］に管理者のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

パスワードの初期値は「password」です。

プリンタを管理する

機能説明

プリンタ　タブ

①［よく使うプリンタ］　頻繁に確認する必要があるプリンタを登録することが可能で、このボタンをクリックすることですぐにプリンタの情報を表示させます。

②［グループ］　部門別、フロア別、機種別などでプリンタを監視する場合、グループに登録することで容易に分類し、表示することが可能です。

③［すべてのプリンタ］　PrintSuperVisionで監視しているプリンタすべての情報を表示します。

④［カスタマイズ］　表示するプリンタ情報をカスタマイズすることができます。

⑤［検索］　ネットワークに接続されているプリンタを調べ表示します。

⑥［プリンタの追加］　すでにIPアドレスがわかっている場合は［プリンタの追加］で直接アドレスを入力することで特定のプリンタを監視対象に含めることができます。

⑦［条件検索］　アドレス、名前、モデル、場所に一致するプリンタを選択します。

マップ　タブ

①［マップの追加］　GIF、JPGまたはPNG形式のファイルをPrintSuperVisionに登録することができます。登録されたマップ上にプリンタグループにあるプリンタを対応する場所に配置できます。

警告　タブ

起動画面でログインした場合のみ表示します。

① ［警告］	プリンタで問題が発生した場合にe-mailを送信する場合の条件を指定します。
② ［ステータスイベント］	プリンタで問題が発生した場合にPrintSuperVisionで記録をする場合の条件を指定します。
③ ［イベントログ］	発生した問題ログを表示します。
④ ［e-mail 設定］	PrintSuperVisionがe-mailを送信させるための各種設定を行います。
⑤ ［クリアログ］	発生したイベントログを削除することができます。

レポート　タブ

起動画面でログインした場合のみ表示します。

① ［印刷枚数 / 日］	1日あたりの印刷枚数を表示します。
② ［サプライ品　使用状況］	現在のトナー残量（対応機種のみ）、使用状況から推定したドラム、ベルト、定着器の交換時期などを表示します。
③ ［プリンタ情報］	プリンタの各種情報の表示を行います。
④ ［レポート設定］	印刷枚数などのプリンタのデータを収集する間隔を設定します。
⑤ ［クリアログ］	このタブに関係するログ情報を削除します。

メンテナンス　タブ

起動画面でログインした場合のみ表示します。

① ［リスト］　プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを表示します。

② ［追加］　プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを追加できます。

③ ［総費用］　入力したコスト金額の累計を表示します。

④ ［サプライ品］　トナー、ドラムなどの消耗品の金額を保存できます。

⑤ ［クリアログ］　このタブに関係するログ情報を削除します。

ツール　タブ

起動画面でログインした場合のみ表示します。

① ［クローニング］　1台のプリンタメニュー設定を複数の他のプリンタに反映することができます。

② ［マルチ ファイル プリンティング］　FTPプロトコルを使用して複数のプリンタにプリント（.pm）ファイルを送信します。

オプション　タブ

①［言語］	表示する言語を選択します。
②［ログアウト］	PrintSuperVisionからログアウトします。
③［パスワードの変更］	ユーザパスワードを変更できます。
④［ユーザ］	ユーザの追加などユーザ管理ができます。 「admin」ユーザ以外は表示のみです。
⑤［ログインログ］	PrintSuperVisionへのログイン記録が表示されます。
⑥［クリアログ］	警告、ログインログなどのログ情報をクリアします。
⑦［ログイン］	ログインしていない場合にのみ表示されます。

ヘルプ　タブ

①［コンテンツ］	PrintSuperVisionのオンラインヘルプをツリー表示します。
②［インデックス］	PrintSuperVisionのオンラインヘルプを選択、表示できます。
③［検索］	キーワード入力によるヘルプ検索ができます。
④［バージョン情報］	PrintSuperVisionのVersion情報を表示します。
⑤［オンライン］	沖データのホームページにリンクしています。

Web Driver Installerを使って…

Web Driver Installerは、以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- ネットワークにつながったプリンタを検索し、ユーザにプリンタドライバのインストールをメールで通知します。
- ネットワーク上に新しいプリンタが見つかると、管理者にメールで通知します。
- プリンタ、ユーザを部門別やフロア別等のグループに分類して管理でき、変更があった場合はユーザにメールで通知します。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ(以下、サーバコンピュータと略す)

Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000/ Windows NT 4.0サーバ(サービスパック6a)日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
Microsoft インターネットインフォメーションサーバ がインストールされているコンピュータ
また、MDAC2.6以上が搭載されているコンピュータ、サーバコンピュータからWeb Driver InstallerにWebブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5以上または、Netscape Navigator 6.0以上が必要です。また、Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installerのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティ更新プログラムを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、サイトを変更するとWeb Driver Installerは動作しません。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ(以下、クライアントコンピュータと略す)

Windows 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
Internet Explorer 5.5以上またはNetscape Navigator 6.0以上がインストールされているコンピュータ
e-mailが受信できるように設定されているコンピュータ
Windows Me/98/95/NTは、OKI LPRユーティリティのバージョン3.08以上がインストールされている必要があります。
また、Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

Server 2003、Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0でWeb Driver Installerの「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

Web Driver Installerをセットアップする

Web Driver Installerをセットアップするには以下の作業が必要です。

1. Web Driver Installerをインストールする。
2. プリンタドライバを登録する。
3. メールの設定をする。
4. グループを登録する。
5. ユーザを登録する。
6. プリンタの自動検索を有効にする。

次の手順に従って作業を行ってください。

1. Web Driver Installerをインストールする

- Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールは、サーバコンピュータ上で行います。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM 」をセットします。

❸［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹［リムーバル記憶域があるデバイス］の ［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックします。

❺［SETUP］アイコンをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［Web Driver Installer］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［次へ］をクリックします。

❿ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

⓬ インストールするWebサイトを確認し、［次へ］をクリックします。

⓭ インストーラは、ファイルのコピーやプログラムの登録などのインストール処理をします。

❶❹ インストール結果を確認し、［次へ］をクリックします。

❶❺ ［完了］をクリックします。ここで再起動のメッセージが表示された場合は、必ず再起動してください。

2. プリンタドライバを登録する

TCP/IPネットワークに接続されているプリンタがあらかじめわかっている場合は、Web Driver Installerの運用を開始する前にプリンタドライバをWeb Driver Installerに登録しておくことをお勧めします。

❶ ［スタート］-［プログラム］(Windows XPでは、［すべてのプログラム］)-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［ドライバ登録ツール］を選択します。ドライバ登録ツールが起動します。

メモ　バージョン欄に何も表示されていないドライバ構成はドライバが登録されていないことを意味します。バージョン番号または〈不明〉が表示されていると、ドライバが登録されていることを意味します。

❷ リストビューで登録したいドライバ構成を選択します。ツールバーの［フィルタ］をクリックし、ドライバ構成を選択することで、目的のドライバ構成のみを表示することができます。

❸ ［ドライバの登録/更新］をクリックすることで、［ドライバの登録/更新］ダイアログが表示されます。

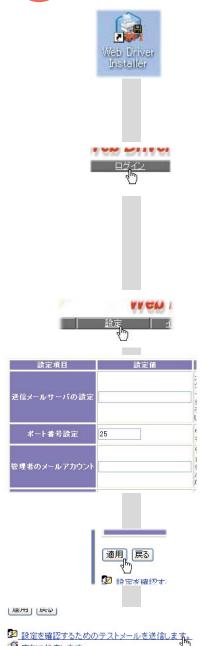
❹ 選択したドライバ構成にあったドライバのセットアップ情報ファイル(INFファイル)のフルパスを入力します。正確な位置が分からない場合は、［参照...］をクリックすることで、ツリー上から選択できます。

- 選択したドライバ構成と一致するプリンタのセットアップ情報ファイルを入力してください。
- プリンタのセットアップ情報ファイルの場所が分からない場合は、プリンタのユーザーズマニュアル　セットアップ編を参照してください。

❺ ［OK］をクリックすることで、登録または更新が完了します。

3. メールの設定をする

ユーザにメールを送信するために必要な設定をします。

この設定をする前に、ユーザの追加や、プリンタの検索をしても、e-mailは送信されません。

❶ デスクトップにある Web Driver Installer アイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

❷ ［ログイン］をクリックします。

❸ ［ログイン名］と［パスワード］に管理者のログイン名、パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。
　ログイン名　admin
　パスワード　password

❹ ［設定］をクリックします。

❺ ［送信メールサーバ］は、Web Driver Installer がe-mailを送信するためのSMTP サーバを指定します。［ポート番号］は、SMTP サーバのポート番号を指定します。通常、25が使用されます。［管理者のメールアカウント］は、Web Driver Installer の管理者のメールアカウントを指定します。Web Driver Installerは、e-mailを送信するために、ここで指定したメールアカウントを送信者として使用します。

メモ　メールサーバによっては、有効な送信者のメールアカウントが必要です。

❻ 設定が終了したら［適用］をクリックします。

❼ 設定内容が正しいかを確認するために、［設定を確認するためのテストメールを送信します］をクリックし、メール受信ソフトで確認メールが届いているかチェックします。［戻る］をクリックすることでメインページに戻ります。

これで、初期設定は完了です。

4. グループを登録する

Web Driver Installerは、部門やフロアといったネットワークセグメント*1単位のグループ管理をします。

*1 LAN(ローカルエリアネットワーク)におけるネットワークの1単位で、1つの機器から送出されたパケットが無条件に到達する範囲と解釈します。

例として、株式会社ABCは3階建てのビルを持っていて、1階に総務部と経理部、2階に営業1部から営業3部があり、3階に技術1部と技術2部があったとします。Web Driver Installerでグループ分けをすると、下図のようになります。

グループ			検索範囲
株式会社ABC			–
	1階		–
		総務部	192.168.0.255
		経理部	192.168.1.255
	2階		–
		営業1部	192.168.2.255
		営業2部	192.168.2.255
		営業3部	192.168.3.255
	3階		–
		技術1部	192.168.4.255
		技術2部	192.168.5.255

このグループ構成をWeb Driver Installerに登録する方法を以下に説明します。

❶ デスクトップにある Web Driver Installer アイコンをダブルクリックします。

クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。

例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン] をクリックします。

❸ [ログイン名] と [パスワード] に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。
ログイン名　admin
パスワード　password

ここでは以下の操作が行えま
新規グループの追加
グループの削除
グループ情報の編集

❹ [グループの一覧] にある [新規グループの追加] をクリックします。

❺［グループ設定］ページの［グループ名］に「1階」と入力し、［OK］をクリックします。「2 階」、「3 階」も同様に追加します。

❻［グループの一覧］にある「1 階」をクリックし、「1 階」グループのページを表示します。

❼「1 階」グループの［グループの一覧］にある［新規グループの追加］をクリックします。

❽［グループ設定］ページの［グループ名］に「総務部」と入力します。また、検索範囲に総務部のブロードキャスト IP アドレスを入力します。［OK］をクリックします。「経理部」も同様に追加します。

❾「ルート」をクリックして、同様に「2 階」の「営業 1 部」、「営業２部」と、「営業３部」、「3 階」の「技術 1 部」と「技術２部」を作成します。

5. ユーザを登録する

Web Driver Installerにメンテナンスユーザと一般ユーザを配置します。メンテナンスユーザは、末端グループまたは、親グループに１人の割合で配置し、グループ内の情報を編集できます。また、一般ユーザは末端グループに配置し、自分自身の情報のみを編集できます。例では、総務部グループと経理部グループを管理するメンテナンスユーザ「鈴木 一郎」さんを1階グループに配置します。また、一般ユーザである総務部の「井上 次郎」さんを総務部グループに配置します。

❶ デスクトップにある Web Driver Installer アイコンをダブルクリックします。

クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、［アドレス］にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされ ているPCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

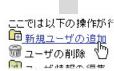
❷［ログイン］をクリックします。

❸［ログイン名］と［パスワード］に管理者のログイン名、パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。
　ログイン名　admin
　パスワード　password

❹［グループの一覧］にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

❺［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

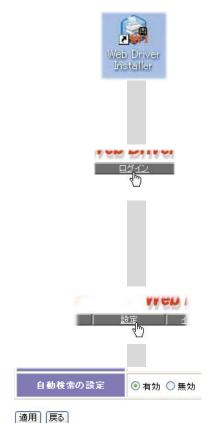
❻ ［種類］は、メンテナンスユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mail アドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

❼ ［グループの一覧］にある「総務部」をクリックし、「総務部」グループのページを表示します。

❽ ［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

❾ ［種類］は、一般ユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mail アドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

これで、メンテナンスユーザと、一般ユーザが配置されました。

6. プリンタの自動検索を有効にする

Web Driver Installerをバックグラウンドで運用するために、[自動検索]を有効にします。以後、検索間隔ごとに末端グループに設定されているブロードキャストIPアドレスを使って新規プリンタが接続されているか検索する処理を繰り返します。

❶ デスクトップにある Web Driver Installer アイコンをダブルクリックします。

メモ
クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン] をクリックします。

❸ [ログイン名] と [パスワード] に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。
ログイン名　admin
パスワード　password

❹ [設定] をクリックします。

❺ [自動検索] を「有効」にチェックして、設定を保存するために [適用] をクリックし、[戻る] をクリックすることでメインページに戻ります。

これで、自動検索機能が有効となりました。

Web Driver Installerのメール送信機能

Web Driver Installerは、登録されているユーザに自動的にe-mailを送信します。e-mailの内容は、下表を参照してください。

あて先	通知内容	詳　細
管理者	新規プリンタの検出	自動検索機能によって、新しく接続されたプリンタが検索されたことを通知します。
	メンテナンス要求	Web Driver Installerの作業ディレクトリに対してメンテナンス作業が必要となったことを通知します。
メンテナンスユーザ 一般ユーザ	プリンタの追加	プリンタドライバが登録されているプリンタを検出したときと、既に検出されているプリンタをサポートするプリンタドライバを管理者が登録/更新したときに、プリンタが追加できることを通知します。
	プリンタの削除	Web Driver Installerからプリンタが削除されたことを通知します。
	ユーザの削除	Web Driver Installerからユーザが削除されたことを通知します。
	グループ移動	ユーザが所属しているグループが移動されたことを通知します。
	ユーザ登録確認	新規に登録されたユーザへ登録確認の通知をします。
	ユーザ情報変更	ユーザ名、ログイン名やパスワードが変更されたことを通知します。
管理者/メンテナンスユーザ	グループの削除	Web Driver Installerからグループが削除されたことを通知します。

プリンタドライバインストール機能

e-mailによる[プリンタの追加]通知に記載されているURLへアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。
また、Webブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
ドライバによってインストール時にトレイや両面印刷ユニットなどのオプション構成をドライバの設定に反映します。

MicrolinePS Utilityを使って…

MicrolinePS Utilityを起動するには

❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで［AdobePS］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。
USB接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

プリンタを設定する

EtherTalkプリンタ名を変更したい

EtherTalkの場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

・EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
・Mac OS Xでは利用できません。

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷［ユーティリティ］メニューから［プリンタ名 / ゾーンの変更 ...］を選択します。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

プリンタ名の文字長は最大31文字にすることができます。
ただしプリンタ名に(= : * @ ˜)などの記号は使用できません。
2バイトコードの上下どちらかのバイトに(= : * @ ˜)と一致するコードが含まれるような文字、例えば(円、淳、ァ、法)などはプリンタ名として使用することはできません。

EtherTalkゾーン名を変更したい

複数の論理ゾーンで区切られているEtherTalkで、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

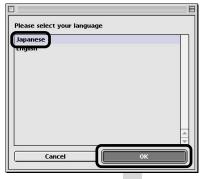
選択できるゾーンは同一セグメントです。

・ EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
・ Mac OS Xでは利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。
❷ ［ユーティリティ］メニューから［プリンタ名 / ゾーンの変更 ...］を選択します。
❸ 変更したいゾーンを選び、［保存］をクリックします。

Setup Utilityを使って…

すでにSetup Utilityがインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

Setup Utilityを起動するには

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ Macintoshが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [Utility] - [Network] フォルダの中の [Installer] をダブルクリックします。

❹ [Japanese] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。初期設定では、Macintosh HDの [Oki Tools] フォルダにインストールされます。

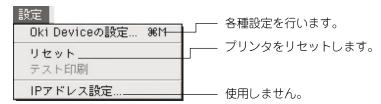
❻ [Setup Utilityを起動しますか？] で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

Setup Utilityが起動します。

プリンタの設定をする

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、MLPro9800PSの代わりにOkiLAN 6500eと表示されます。

機能の説明

Oki Deviceの設定

[パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

- イーサネットのアドレスは、ネットワークの設定情報に表示されています。

通信エラーが発生してしまい、設定できない場合には、「オプション」→「環境設定」のタイムアウトを長めに設定して下さい。

General

TCP/IP

EtherTalk

EtherTalkプロトコルを使うときはチェックします。

SNMP

SNMPのSysContact、SysName、SysLocationを設定します。

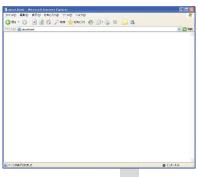
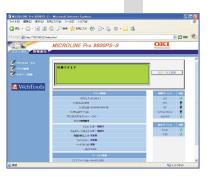
Webブラウザを使って…

Internet ExplorerやNetscape Navigatorを使って、プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

・Mac OS XのSafari、およびInternet ExplorerではWeb PageからリンクされているWebToolsはご使用いただけません。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上もしくはNetscape Navigator Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
ネットワーク(TCP/IP)で動作しているコンピュータ

Webブラウザを起動するには

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

プリンタステータス画面が表示されます。

機能の説明

ステータス　タブ

①	［プリンタステータス］	プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。 また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。
②	［プリンタ情報］	プリンタのシステム仕様を確認することができます。
③	［ネットワーク情報］	ネットワークの設定情報を確認することができます。
④	ステータスウィンドウ	プリンタの状態を確認できます。

情報通知　タブ

①	［障害通知設定］	プリンタに発生した事象をE-mailで通知する機能を設定できます。

注 MLPro9800PS-Eで本機能を使用するためには、オプションの内蔵ハードディスクが必要です。

発生した障害を定期的に通知する

❶［情報通知］タブをクリックします。

※メールサーバについては、WebToolsで設定してください。

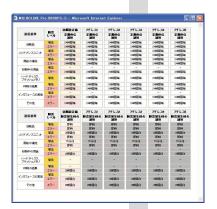
❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

・［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

・期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

a. ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

・設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

障害が発生したことを通知する

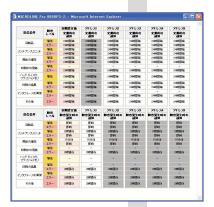
❶［情報通知］タブをクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

- ［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0時間0分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼ ［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

a. ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

- 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

SNMPを使用する

MLPro9800PSは、SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、MLPro9800PSはMIB-IIおよび沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」の[Utility]-[Nic]-[Mib]フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

SNMPコミュニティ名によるネットワーク設定の参照・変更の制限

SNMPを用いて設定の参照をする場合には「SNMP Readコミュニティ名」が、設定を変更する場合には「SNMP Writeコミュニティ名」が必要です。
任意のコミュニティ名を設定することで、SNMPによる望まれない設定参照や変更を防ぐことができます。
「SNMP Readコミュニティ名」、「SNMP Writeコミュニティ名」の初期値はそれぞれ「public」です。

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、メニューマップ印刷のネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。
設定値を変更するには、Webブラウザ, WebTools, NICセットアップユーティリティ（AdminManager）を使用します。

全般

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
―	―	adminパスワード	イーサネットアドレス下6桁	ネットワークの管理者用パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
―	―	SNMP Write Community	public	SNMPで管理者アカウントレベルのアクセスを行う場合に使用するパスワードを設定します。このパスワードは、SNMPパケットではコミュニティとして使用されます。
―	―	SNMP Read Community	public	SNMPで管理者アカウントレベルのアクセスを行う場合に使用するパスワードを設定します。このパスワードは、SNMPパケットではコミュニティとして使用されます。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
―	イーサネットを使用する	TCP/IPプロトコルを使用する	Enable Disable	TCP/IP プロトコルの使用／未使用を設定します。
―	IP自動割当(DHCP)	DHCPを使用する	Enable Disable	DHCPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
―	IP自動割当(BOOTP)	BOOTPを使用する	Enable Disable	BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
―	IPアドレス	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
―	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
―	ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
―	―	Rendevousを使用する	Enable Disable	Macintoshの自動検出機能の使用／未使用を設定します。

AppleTalk（EtherTalk）

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
ー	AppleTalkを使用する	EtherTalkを使用する	Enable Disable	AppleTalk（EtherTalk）の使用／未使用を設定します。
ー	ゾーン選択	ゾーン名	なし	AppleTalk（EtherTalk）ゾーン名を指定します。32文字以内の英数字です。

IPX フレーム

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
ー	IPXフレーム	ー	自動取得 一覧から選択	NetWareを動作させるプロトコルIPXを設定します。
ー	フレーム	ー	Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet_Ⅱ Ethernet_SNAP	NetWare上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。上記「IPXフレーム」で「一覧から選択」で設定します。

DNS

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
ー	DNS設定を使用する	ー	Enable Disable	DNSの使用／未使用を設定します。
ー	DNSアドレスを自動取得	ー	Enable Disable	DNSアドレスを自動で取得するサービスの使用／未使用を設定します。
ー	DNSを使用する	ー	イーサネット	DNSを動作させる環境を選択します。
ー	プライマリDNSサーバ	プライマリサーバ	127.0.0.1	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。
ー	セカンダリDNSサーバ	セカンダリサーバ	127.0.0.1	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。
ー	ドメイン名	ー	なし	DNSドメイン名を設定します。
ー	ホスト名	ー	（「サーバ名」が表示される）	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
―	Pserverモードを使用する	―	Enable Disable	NetWareの使用／未使用を設定します。
―	Pserverポーリング間隔（秒）	―	1 ～ 15 ～ 3600	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。
―	バインダリ設定	―	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。
―	NDSを使用する	―	Enable Disable	NDSの使用／未使用を設定します。
―	ツリー変更	―	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。

Windows 印刷サービス

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
―	Windows印刷サービスを使用する	―	Enable Disable	Windows印刷サービス（Micosoft SMBプロトコル）の使用/未使用を設定します。
―	サーバ名	―	（「サーバ名」が表示される）	SMBで表示する名前を設定します。
―	コメント	―	なし	SMBで表示するコメントを設定します。
―	ドメインワークグループ	―	なし	SMBで表示するワークグループを設定します。
―	Auto IP	―	Enable Disable	WINSネームサーバのIPアドレスを自動取得するか否かを設定します。
―	WINSサーバ使用	―	Enable Disable	WINSサービスの使用/未使用を設定します。
―	IPアドレス	―	127.0.0.1	WINSネームサーバのIPアドレスを設定します。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
ー	ー	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
ー	ー	SysName	なし	プリンタの名前を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
ー	ー	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
ー	イーサネットを使用する	TCP/IPプロトコルを使用する	Enable Disable	TCP/IPプロトコルの使用/未使用を設定します。
ー	AppleTalkを使用する	EtherTalkプロトコルを使用する	Enable Disable	EhterTalkプロトコルの使用/未使用を設定します。
ー	FTPサービスを使用する	FTP Serviceを使用する	Enable Disable	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/未使用を設定します。
ー	Webサービスを使用する	Web Serviceを使用する	Enable Disable	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/未使用を設定します。
ー	ー	SNMP Serviceを使用する	Enable Disable	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/未使用を設定します。通常はENABLE（使用する）でお使いください。
ー	LPD印刷サービスを使用する	ー	Enable Disable	LPD印刷サービスの使用/未使用を設定します。
ー	ポート9100を使用する	ー	Enable Disable	ポート9100サービスの使用/未使用を設定します。
ー	ポート9100キュー	ー	直接接続 待機キュー 印刷キュー	プリンタ設定で有効にしたキューのみが使用できます。
ー	IPPを使用可能にする	ー	Enable Disable	IPPサービスの使用/未使用を設定します。
ー	イーサネットを使用する	ー	Enable Disable	イーサネットの使用/未使用を設定します。
ー	イーサネット速度	ー	自動検知 100Mbps 10Mbps	イーサネットのスペックを設定します
ー	パラレルポートを使用する	ー	Enable Disable	パラレルポートの使用/未使用を設定します。
ー	EOFキャラクタの無視	ー	Enable Disable	パラレル通信でEOFキャラクタを無視するか否かを設定します。
ー	パラレルポートのタイムアウト（秒）	ー	5 ～ 60	パラレルポートのタイムアウト時間（秒）を設定します。

障害通知設定

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
アドレス1〜5	−	−	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
障害通知方法	−	−	定期的な通知 障害発生時の通知	障害を通知する方法を設定します。
メール通知間隔	−	−	1 〜 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
消耗品　警告	−	−	OFF 0時間0分 〜 48時間45分	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品　警告	−	−	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品　エラー	−	−	OFF 0時間0分 〜 48時間45分	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品　エラー	−	−	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット　警告	−	−	OFF 0時間0分 〜 2時間0分 〜 48時間45分	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなと)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット　警告	−	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット エラー	−	−	OFF 0時間0分 〜 48時間45分	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット エラー	−	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
用紙の補充 警告	―	―	OFF 0時間0分 ~ 0時間15分 ~ 48時間45分	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 警告	―	―	ON OFF	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	―	―	OFF 0時間0分 ~ 48時間45分	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	―	―	ON OFF	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 警告	―	―	OFF 0時間0分 ~ 48時間45分	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 警告	―	―	ON OFF	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 エラー	―	―	OFF 0時間0分 ~ 2時間0分 ~ 48時間45分	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 エラー	―	―	ON OFF	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
ハードディスクフラッシュメモリ	―	―	OFF 0時間0分 ~ 48時間45分	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
ハードディスクフラッシュメモリ	―	―	ON OFF	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
印刷の結果 警告	－	－	OFF 0時間0分 〜 48時間45分	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 警告	－	－	ON OFF	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	－	－	OFF 0時間0分 〜 2時間0分 〜 48時間45分	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	－	－	ON OFF	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース 警告	－	－	OFF 0時間0分 〜 48時間45分	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース 警告	－	－	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース エラー	－	－	OFF 0時間0分 〜 2時間0分 〜 48時間45分	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インター フェース エラー	－	－	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
その他	－	－	OFF 0時間0分 〜 2時間0分 〜 48時間45分	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
その他	－	－	ON OFF	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

Eメールサービス

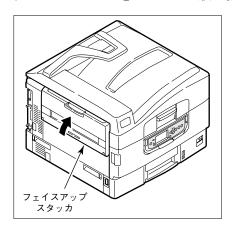
網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
Webブラウザ	WebTools	AdminManager		
ー	Eメールサービス設定	ー	Enable Disable	Eメールサービスの使用／未使用を設定します。
ー	Eメール印刷を使用可能にする	ー	Enable Disable	Eメール印刷の使用／未使用を設定します。
ー	受信メールサーバ	ー	なし	受信サーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。 ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec)の設定が必要です。
ー	サーバタイプ	ー	POP3 IMAP	受信サーバのサービスタイプを選択します。
ー	送信メールサーバ	ー	なし	送信メールサーバの指定をします。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。 ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec)の設定が必要です。
ー	タイムアウト（秒）	ー	30 60 90 120 150 180 210 240 270 300	Eメールサーバと接続する際のタイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
ー	ポーリング間隔（秒）	ー	5 〜 300 〜 3600	自動的にEメールサーバに新規メッセージを取得に行くまでの間隔を秒単位で指定できます。
ー	メールボックスアカウント名	ー	なし	メールサーバで指定されているメールボックス名を、半角14文字以内で入力します。
ー	Fiery Eメールアドレス	ー	なし	Eメールアカウント名を、半角72文字以内で入力します。
ー	パスワード	ー	なし	Eメールアカウントのパスワードを、半角16文字以内で入力します。
ー	パスワード確認	ー	なし	確認のため、パスワードを再入力してください。
ー	管理者Eメールアドレス	ー	なし	管理者は、特定のEメールアドレスに対してEメールサービスをEメールを使用してリモートから管理する権限を与えることができます。 最大、半角39文字まで入力できます。

5 知っていると役に立つ操作

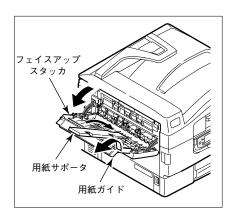
ページ順に出力する

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

「フェイスダウン」でページ順に排出する

❶ プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」が閉じていることを確認します。

❷ 印刷します。

「フェイスアップ」でページを逆順に排出する

フェイスアップスタッカを開き、プリンタドライバでページの順序を逆に設定し、印刷します。

❶ プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

- MLPro9800PS-Eは、プリンタに内蔵ハードディスク(オプション)が必要です。詳しくは「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 接続タイプ(キュー)で「直接接続」が指定されている場合には利用できません。

❸ 印刷するファイルを開きます。

❹ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❺ [プロパティ](WindowsXP/Server2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000 では、この操作は必要ありません。)

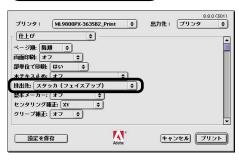
❻ [Fiery 印刷] タブの [仕上げ] オプションバーをクリックし、[ページ順] で [降順] を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003では、接続タイプ(キュー)で「直接接続」が指定されている場合や、MLPro9800PS-Eでオプションのハードディスクがない場合でも、[レイアウト]タブの[ページ順序]で[逆]を選択することで逆順に印刷することができます。ただし[仕上げ]オプションの[ページ順]と[レイアウト]タブの[ページ順序]を同時に指定しないようにしてください。

❼ [Fiery印刷] タブの [仕上げ] オプションバーをクリックし、[排出先] で [スタッカ (フェイスアップ)] を選択します。

Windows PCLプリンタのドライバをお使いの方

利用できません。

MacOSをお使いの方

❸ 印刷するファイルを開きます。

❹ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺ ［仕上げ］パネルの［ページ順］で［降順］を選択します。

接続タイプ（キュー）で「直接接続」が指定されている場合や、MLPro9800PS-Eでオプションのハードディスクがない場合でも、［一般設定］パネルの［逆順で印刷］にチェックを付けることで逆順に印刷することができます。ただし［仕上げ］パネルの［ページ順］と［一般設定］パネルの［逆順で印刷］を同時に指定しないようにしてください。

❻ ［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

Mac OS X10.2.4～10.2.8プリンタドライバでは利用できません。

❸ 印刷するファイルを開きます。

❹ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］パネルの［仕上げ1］機能セットの［ページ順］で［降順］を選択します。

接続タイプ（キュー）で「直接接続」が指定されている場合や、MLPro9800PS-Eでオプションのハードディスクがない場合でも、OSX10.3以降では［用紙処理］パネルの［ページの順序を逆にする］にチェックを付けることで逆順に印刷することができます。ただし［仕上げ1］機能セットの［ページ順］と［用紙処理］パネルの［ページの順序を逆にする］を同時に指定しないようにしてください。

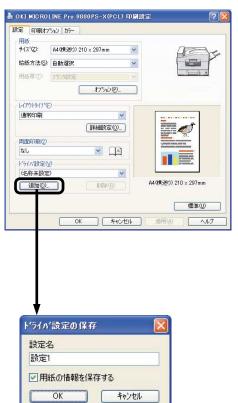
❻ ［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する

プリンタドライバで設定した内容を、名前を付けて保存できます。
名前を指定することで、いつでも保存した設定で印刷できます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

「PS印刷ガイド」の「ジョブテンプレートの使用」を参照してください。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
(WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックし、Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。)

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 をお使いの方

［OKI MICROLINE ***(PCL)］(***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 をお使いの方

［OKI MICROLINE ***(PCL)］(***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 をお使いの方

［OKI MICROLINE ***(PCL)］(***はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ ［設定］タブの［ドライバ設定］で［追加］を選択します。

❺ ［設定名］に設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

［用紙情報を保存する］にチェックを付けると、［設定］タブの［用紙］の設定も保存します。

❻ ［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

ドライバ設定は最大14個まで保存することができます。

Mac OSをご使用の場合

利用できません。

Mac OSXをご使用の場合

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹［プリセット］で［別名で保存］を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名をクリックし［OK］をクリックします。

❺ キャンセルをクリックします。
以降［プリセット］で保存した設定名称を選択して印刷することができます。

注 ［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

5 知っていると役に立つ操作

プリンタドライバの初期設定を変更する

よく使う機能を初期設定としておくと便利です。

WindowsXP/2000/Server2003をお使いの方

注 WindowsNT4.0ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックし、Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］または［OKI MICROLINE ***(PCL)］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。（WindowsMe/98では［プロパティ］、WindowsNT4.0では［ドキュメントの既定値］を選択します。）

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［設定を保存］をクリックします。

注 ［用紙設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

❹ 確認画面で［OK］をクリックします。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

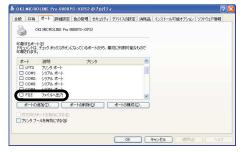
❸ 各設定を変更し、「プリセット」で「別名で保存」を選択し、保存名を入力します。

注 ［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

印刷データをファイルに出力する

印刷データを印刷せずにファイルに書き出して保存することができます。
Windowsの場合、保存したファイルは、OKI LPRユーティリティを使って印刷できます。（137ページ）

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

1. ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックし、Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）
2. ［OKI MICROLINE ***(PS)］または［OKI MICROLINE ***(PCL)］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［ポート］タブの［印刷するポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。
4. 印刷します。［ファイルへ出力］で［出力先ファイル名］を入力し、［OK］をクリックします。

WindowsMe/98/95をお使いの方

1. ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
2. ［OKI MICROLINE ***(PS)］または［OKI MICROLINE ***(PCL)］（***はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。
4. 印刷します。［ファイルへ出力］で［ファイル名］を入力し、［フォルダ］を選択し、［OK］をクリックします。

MacOSをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［出力先］で［ファイル］を選択します。
4. ［PostScript 設定］パネルで設定を行います。
5. 印刷します。［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

Mac OS Xをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックを付け、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。
4. ［別名で保存］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

メモ

形式
　ポストスクリプトファイル形式を指定します。
PostScriptレベル
　出力するプリンタに合わせて指定します。
フォーマット
　アスキー/バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
　バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。
フォントデータ
　ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScriptフォントしか使っていない場合は［なし］を選択します。

ポストスクリプトエラーを印刷する

PSプリンタドライバを使って印刷している場合にエラーが発生したとき、エラー内容を印刷することができます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
4. ［PostScript］タブの［PostScript エラー情報を印刷する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

MacOSをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［エラー設定］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートの出力］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［エラー処理］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

PDF Print Directユーティリティを使ってPDFファイルを印刷する

PDF Print Directユーティリティを使ってプリンタにPDFファイルを直接送り印刷します。アプリケーションを起動してファイルを開く手間が省けます。

- MLPro9800PS-Eでは、内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。
- PDFファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Readerなどのアプリケーションから印刷してください。
- 暗号化されたPDFファイルは印刷できません。
- PDFファイルフォーマットVer1.4以上では、正しく印刷されない場合があります。
- Windows PC上に本製品のプリンタドライバをあらかじめインストールしておく必要があります。また、プリンタドライバの接続タイプ（キュー）が［直接接続］の場合はPDFファイルは印刷されませんので、プリンタドライバの接続が［直接接続］以外であることを確認してください。

接続ポートにパラレルポート、またはUSBをお使いの方は、プリンタの操作パネル（管理者メニュー）の［パラレル設定：パラレル接続］もしくは［USB設定：USB接続］を「印刷キュー」にしてください。OKI LPR ユーティリティをお使いの方は、ユーティリティの「印刷方式」を「ホストの開放を優先する」に設定してください。Standard TCP/IP Portをお使いの方は、「ポートの構成」/「Raw設定」を「9012」に変更するか、または「プロトコル」で「LPR」を選択してください。

❶ 印刷したいPDFファイルを選択し、次のようなメニューが表示されるので［PDF Print Direct］を選択します。

❷ 印刷可能な PDF ファイルの場合、左の画面が表示されます。使用するプリンタに接続されているプリンタドライバを［プリンタの選択］で選択します。

❸ 必要な項目を設定し、［印刷］をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードする

MicrolinePS Utilityを使ってポストスクリプトファイルをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。
プリンタとの接続にUSBをお使いの方は、接続タイプ(キュー)を「直接接続」にする必要があります。

MacOSをお使いの方

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから [File ダウンロード ...] を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、[開く] をクリックします。
ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。
ダウンロードが終了すると印刷されます。

メモ

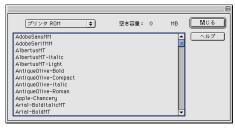
ポストスクリプトファイルをドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

プリンタフォントを確認する

MicrolinePS Utilityを使って、プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。
プリンタとの接続にUSBをお使いの方は、接続タイプ(キュー)を「直接接続」にする必要があります。

MacOSをお使いの方

1. [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。
2. [ユーティリティ] メニューから [フォントリスト表示] を選択します。
3. [プリンタ ROM]、[フォントカートリッジ]、[フォントカートリッジ　# 1]を選択すると、プリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。
4. [プリンタ Disk] を選択すると、プリンタの内蔵ハードディスク（MLPro9800PS-E ではオプション）にダウンロードしたフォントが表示されます。

MLPro9800PS-Eで内蔵ハードディスク(オプション)を装着していない場合、[プリンタ Disk]は選択できません。
[プリンタ ROM]で内蔵ハードディスクにダウンロードしたフォントが見える場合があります。
ダウンロードフォントのリストを印刷することはできません。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

PDFファイルを直接プリンタにダウンロードして印刷する

MicrolinePS Utilityを使ってPDFファイルを直接プリンタに送り、印刷することができます。

- PDFファイルフォーマットVer1.4以上では正しく印刷されない場合があります。
- PDFファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Readerなどのアプリケーションから印刷してください。
- USB接続の場合、PDFファイルのダウンロード機能は利用できません。
- MLPro9800PS-Eではオプションの内蔵ハードディスクが必要です。

MacOSをお使いの方

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［File ダウンロード ...］を選択します。

❸ ダウンロードしたいPDF ファイルを選択します。

❹ 送信可能なPDF ファイルの場合、次の画面が表示されますので、必要があれば適当な項目を設定します。

❺ ［ダウンロード］をクリックします。
PDF ファイルがプリンタに送られます。

❻ MicrolinePS Utility を終了します。

メモ

次のようにPDFファイルをユーティリティアイコン上に直接ドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

色見本印刷ユーティリティを使って希望色を印刷する（Windows）

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

・Windows95では利用できません。
・色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、120ページをご覧ください。

1 色見本を印刷します。

❶ ［スタート］-［プログラム］（Windows XP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

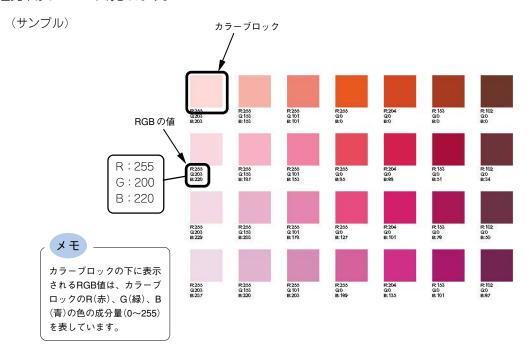
メモ ドライバの［カラー］タブで［色見本の印刷］をクリックして起動することもできます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ プリンタを選択します。

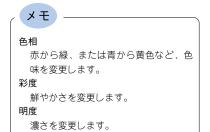
❹ ［OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が3ページ印刷されます。

（サンプル）

❺ 印刷された色見本から、印刷する色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

色相
赤から緑、または青から黄色など、色味を変更します。
彩度
鮮やかさを変更します。
明度
濃さを変更します。

1. ［ファイル］メニューの［カスタム色見本］を選択します。
2. 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、［OK］をクリックします。
3. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
4. プリンタを選択します。
5. ［OK］または［印刷］をクリックします。
   プリンタから1ページ印刷されます。
6. 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順1から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

   アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。
3. 印刷します。

プリンタドライバを削除する

WindowsPSプリンタドライバをお使いの方

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsPSドライバを削除するには、「FieryPrinterDeleteUtility」を使用します。
「FieryPrinterDeleteUtility」の起動は、[スタート]-[プログラム]-[Fiery]-[FieryPrinterDeleteUtility]を選択します。
FieryPrinterDeleteUtilityがインストールされていない場合は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」のセットアッププログラムを起動し、「その他各種ユーティリティのインストール」を選択してインストールしてください。
プリンタ選択画面で削除するプリンタ名を選択し、[削除]をクリックします。
以降、画面の指示に従います。

WindowsPCLプリンタドライバをお使いの方

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ Windows を再起動します。

❷ **WindowsXP をお使いの方**

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003 をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ]（Windows Server 2003 では［プリンタと FAX］）をクリックします。

❸ [OKI MICROLINE ***(PS)] または [OKI MICROLINE ***(PCL)] (*** はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除] を選択します。

❹ 以降、画面の指示に従います。

WindowsMe/98/95 をお使いの方

ここで完了です。

WindowsNT4.0 をお使いの方

❼ へ進みます。

❺ **WindowsXP/Server2003 をお使いの方**

「プリンタとFAX」フォルダの [ファイル] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

Windows2000 をお使いの方

「プリンタ」フォルダの [ファイル] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

❻ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

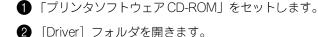
❼ Windows を再起動します。
再起動することにより完全にプリンタドライバが削除されます。

・ネットワーク接続の場合、プリンタドライバと一緒にインストールされるOKI LPRユーティリティとNetwork Extension（PCLドライバのみ）は、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPRユーティリティとNetwork Extensionを削除したい場合は、121ページをご覧ください。

MacOSをお使いの方

Mac OS Xをお使いの方は207ページをご覧ください。

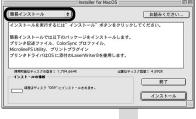
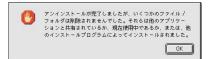
❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ▲▼をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。
プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾ ［OK］をクリックします。

❿ ［終了］をクリックします。

⓫ 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。
- AdobePSを使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリンタ初期設定］フォルダ内の「AdobePS設定」ファイル
- ［システムフォルダ］ー［機能拡張］フォルダ内の「AdobePS」ファイル、「Printing Lib」ファイル、「Adobe Printing Library」ファイル

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は206ページをご覧ください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタリスト］を閉じます。

プリンタドライバを更新(アップデート)する

最新のプリンタドライバは沖データのホームページ(http://www.okidata.co.jp/)からダウンロードできます。

Windowsをお使いの方

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

プリンタドライバ更新の流れ

プリンタドライバを更新(アップデート)する

1. Windows を再起動します。
   コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。
2. **WindowsXP をお使いの方**
   ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。
   WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003 をお使いの方
   ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（Windows Server 2003 では［プリンタと FAX］）をクリックします。
3. ［OKI MICROLINE ***(PS)］または［OKI MICROLINE *** (PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
4. **WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 をお使いの方**
   ［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。
   WindowsMe/98/95 をお使いの方
   ［全般］タブの［印字テスト印刷］をクリックします。
5. 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。
   テストページが印刷されます。
6. プリンタの電源を OFF にします。
   電源の切り方は別冊「プリンタ機能編」の「電源を切る」をご覧ください。
7. プリンタドライバを削除します。
   詳しくは、205 ページをご覧ください。

注　ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバ(PSまたはPCL)と同じ種類のプリンタドライバをすべて削除してください。

5 知っていると役に立つ操作

❽ Windows を再起動します。

❾ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
接続方法を確認し、「セットアップ編」をご覧ください。

必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

❿ ❶～❺の手順で「テストページ」を印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsXP/2000/Server2003をお使いの方

［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsMe/98/95をお使いの方

［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0をお使いの方

［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

プリンタ テスト ページ

OKI MICROLINE Pro 9800PS-X(PS)（ UserPC 上）が正しくインストールされました。
以下の情報は、プリンタ ドライバとポート設定の説明です。

受付時刻: 14:35:06 2005/11/30
コンピュータ名: UserPC
プリンタ名: OKI MICROLINE Pro 9800PS-X(PS)
プリンタ モデル: OKI MICROLINE Pro 9800PS-X(PS)
カラー印刷: 有
ポート名: OKILPR18
データ形式: RAW
共有名:
場所:
コメント:
ドライバ名: PSCRIPT5.DLL
データ ファイル: EF1K3325.PPD
構成ファイル: PS5UI.DLL
ヘルプ ファイル: PSCRIPT.HLP
ドライバのバージョン: 5.02
環境: Windows NT x86

このドライバが使う追加ファイル:
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥PSCRIPT.NTF
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥PSCRPTFE.N[illegible]
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]e (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]m
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]l (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]t (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]n (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]i
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]n (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]m (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]e
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]r (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥EF1K3325.[illegible]m (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ehm10.dll (R1.08.30t3)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ehmbrq.dl[illegible] (R1.08.30t3)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ehmcore.d[illegible] (R1.08.30t3)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ehmecol.d[illegible] (R1.08.30t3)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ehmefi.dl[illegible] (R1.08.30t3)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥efjm.dll (1.6.40)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ok013j3s.[illegible]p
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥ophcwnxt.[illegible]l (1.11)
C:¥windows¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥opjobinf.[illegible]l (1.02)

プリンタ テスト ページ終わり。

（例） WindowsXPの「テストページ」

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

MacOSをお使いの方

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除する」(205 ページ) をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップ編」をご覧ください。

Mac OS Xをお使いの方

❶ [プリントセンター] - [プリンタリスト] のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除する」(205 ページ) をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップ編」をご覧ください。

6 トラブルシューティング

印刷できないとき

一般的なトラブル

現　象	考えられる原因	解決するには
印刷できない	プリンタの電源が入っていない	電源を入れてください。
	ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータを正しく接続してください。
	停電している	停電が解除されるまでお待ちください。
	手順通りにプリンタドライバのインストールを行っていない	プリンタドライバを削除し、手順通りにインストールしてください。
	プリンタがオフラインになっている	プリンタのオンラインボタンを押し、[印刷できます]と表示させてください。
	プリンタの操作パネルにエラーメッセージを表示している	エラーメッセージを確認し、プリンタ機能編をご覧ください。
	プリンタのハードディスクに空きがない	待機ジョブを印刷するか、または削除して、ハードディスクを空けてください。
	MacOS9で、Fiery Color Wise ProToolsとFiery Spoolerを起動したまま印刷している	Fiery Color Wise ProToolsとFiery Spoolerを終了します。
フィニッシャがついた状態で印刷できない	プリンタドライバの設定でフィニッシャが「未装着」になっている	プリンタドライバの設定でフィニッシャを「装着」に設定します。
印刷がキャンセルできない	PSの出力プロトコルが「バイナリ」に設定されている	Windowsのプリンタドライバのスプーラを開き、再送されているジョブを削除します。その後、プリンタの操作パネルで「キャンセル」ボタンを押します。

印刷が遅い

現　象	考えられる原因	解決するには
プリンタの印刷するまでの処理に時間がかかる	ドライバの印刷品位で「きれい」または「高精細（多階調）」を選んでいる	「ふつう」に変更してください。
	プリンタにはないフォントを使用している	プリンタに搭載されているフォントを利用するとデータ量が少なくなります。（102ページ）
	サイズの大きなファイルを複数部数指定で印刷している	処理されるまでお待ちください。

ネットワーク接続時のトラブル

現　象	考えられる原因	解決するには
印刷できない	ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータを正しく接続してください。
	ケーブルが規格に合っていない	規格に合ったケーブルを使用してください。
	OKI LPRユーティリティでプリンタが停止中になっている	使用しているプリンタの一時停止のチェックを外してください。
	プリンタのネットワーク機能がおかしい	ネットワークを初期化してください。

USB接続時のトラブル

現　象	考えられる原因	解決するには
印刷できない	ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータを正しく接続してください。
	ケーブルが規格に合っていない	規格に合ったケーブルを使用してください。
	インタフェースの設定が無効になっている	USBを有効にしてください。
	USBハブを使っている	プリンタとコンピュータを直接接続してください。
	セットアップ手順が間違っている	セットアップ編の手順に従ってセットアップしてください。
	前回の設定が有効になっている	メニューでタイムアウトを短くしてください。

パラレル接続時のトラブル

現　象	考えられる原因	解決するには
印刷できない	ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータを正しく接続してください。
	ケーブルが規格に合っていない	規格に合ったケーブルを使用してください。
	インタフェースの設定が無効になっている	パラレルを有効にしてください。
	セットアップ手順が間違っている	セットアップ編の手順に従ってセットアップしてください。
プリンタの操作パネルでキャンセルしても、同じジョブが再印刷される	Windowsから、キャンセルされたジョブが再送されている	PSドライバの「デバイスの設定」で「出力プロトコル」を「ASCII」または「TBCP」を選択します。

ステイプル・パンチのトラブル

現　象	考えられる原因	解決するには
ステイプル・パンチが正常にされない	プリンタドライバの「用紙チェック」がオフになっている	PSドライバの「Fiery印刷」タブを開き、「用紙トレイ」の「用紙チェック」をオンにします。
	指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がトレイにセットされている	トレイの用紙を正しいサイズの用紙に交換します。

印刷結果に関するトラブル

現　象	考えられる原因	処　置
縦方向に白いスジが入る。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。別冊「プリンタ機能編」
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。別冊「プリンタ機能編」
	異物がつまっています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
縦方向にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。別冊「プリンタ機能編」
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。(224ページ)
印刷が薄い。	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。(224ページ)
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。

現　象	考えられる原因	処　置
縦方向にスジが入る。	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
横方向にスジや点が周期的に入る。	約94mm周期の場合は、イメージドラム(緑の筒の部分)に傷または汚れがついています。	イメージドラムカートリッジのカバーをずらし、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約94mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約49mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約88mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	定着器ユニットを交換してみてください。
白地の部分が薄く汚れる	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚い用紙を使用しています。	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。 別冊「プリンタ機能編」
	湿度が低く、トナーが過剰に帯電しています。	室内の湿度を高くしてください。 湿度50%が最適です。
文字の周辺がにじむ。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。別冊「プリンタ機能編」
	LEDヘッドの位置が正しくありません。	トップカバーを開閉してください。

現　象	考えられる原因	処　置
はがき、封筒または光沢紙に印刷すると全体的に薄く汚れる。	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着(かぶり)することがあります。	プリンタの故障ではありません。
擦ると文字の周辺が汚れる。	光沢紙に印刷すると薄くトナーが付着(かぶり)することがあります。	プリンタの故障ではありません。事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。 高温度、高湿度環境を避けてください。温度23℃、湿度50%が最も適した環境です。
擦るとトナーがとれる。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
光沢にムラが出る。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ薄い紙の値にしてください。
トナーが定着しないところがある。 トナーがはがれる。	定着器の温度が適切ではありません。	プリンタのトップカバーを開閉してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
残像が印刷される。	印刷環境が適切ではありません。	高温度、高湿度環境を避けてください。
モニタの色と印刷結果が合わない。 思った色がでない。	プリンタユーティリティのカラーが調整されていません。モニタとプリンタでは色の表現方法が異なるため、完全に一致した結果が得られない場合があります。	
印刷結果が汚いまたは粗い。	ハーフトーン濃度が適切ではありません。	ハーフトーン調整を細かく設定してください。
汚れがでる。(トナーが飛び散る)	トナーやドラムが正しくセットされていません。	トナー・ドラムを取り付け直してください。 プリンタカバーを開き、汚れがあれば取り除きます。
文字化けする。	指定したフォントに問題があります。	フォントリスト印刷を行います。別冊「プリンタ機能編」 問題なく印刷される場合は、アプリケーションや指定したフォントを変えて印刷を確認し、問題がどこにあるか確認します。

WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項

Windowsファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2セキュリティ強化機能搭載では、Windowsファイアーウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PCネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で[Windowsファイアウォール]-[例外]を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
AdminManager	プリンタ検索、NICの設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NICの設定ができなく なります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NICの設定を行う場合は、 [Windowsファイアウォール]-[例外]-[プログラムの追加]を開き、AdminManagerを追加し、チェックを入れてください。
OKILPRユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面でIPアドレスを直接入力することで設定できます 。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェッ クがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタ」-「プリンタの追加/削除」で、プリンタ名(任意)とIPアドレスを 入力し、OKボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。
Print Job Accounting	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「 TCP/IPネットワーク」を選択し、IPアドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	WindowsXP Service Pack 1以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、WindowsXP Service Pack2にアップデートを行うと、左 記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windowsを再起動します。
Print Super Vision	リモートPCからアクセスできません。	[Windowsファイアウォール]-[例外]-[ポートの追加]を開き、 PrintSuper Visionがインストールされているwebサイトのポート番号を追加してください。 ※設定方法は、[すべてのプログラム]-[沖データ]-[PrintSuperVision]-[お読みください]を参照してください。
	ポップアップウインドウがブロックされます。	※設定方法は、[すべてのプログラム]-[沖データ]-[PrintSuperVision]-[お読みください]を参照してください。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を*(例：192.168.0.*)にすると、検索できます。
	リモートPCからアクセスできません。	[Windowsファイアウォール]-[例外]-[ポートの追加]を開き、Web Driver Installerがインストールされているwebサイトのポート番号を追加し、[管理ツール]-[コンポーネント サービス]でWeb Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は、[すべてのプログラム]-[沖データ]-[Web Driver Installer]-[お読みください]を参照してください。
Web全般	Webが正確に表示されないことがあります。	WindowsXP Service Pack 2を適用した場合、ポップアップウインドウがブロックされます。以下の設定を行ってください。 ① Internet Explorerの[ツール]-[ポップアップブロックの設定]を開きます。 ② [許可するWebサイトのアドレス]にプリンタのIPアドレスを追加します。 ③ [閉じる]をクリックします。

※ 詳細は弊社ホームページ「http://www.okidata.co.jp」をご覧ください。

7 ユーザーサポート

お客様相談センターのご案内

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次ページの「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター 0120-654-632

（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、 翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは、(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供, アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　）

コンピュータ環境

□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

□パラレル　□USB　□ネットワーク　□TCP/IP

□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBEUI　□Rendezvous　□その他（　）

ネットワークの有線・無線 □有線　□無線

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない

他のコンピュータからの印刷　　：□正常　□印刷できない

最新プリンタドライバの入手方法

沖データホームページからダウンロードしてください。

http://www.okidata.co.jp

補修用部品の保有年数について

本プリンタの補修用部品の保有年数は、製造終了後5年間とさせていただきます。
詳しくは沖データホームページをご覧ください。

付　録

使用できる用紙

使用できる用紙の種類は、普通紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPフィルム、部分印刷用紙、カラー用紙です。推奨紙、サイズ、厚さなどはそれぞれの用紙の項目をご覧ください。
高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外の用紙を使用すると、紙づまりなどの走行不良の原因となったり、印刷品位が低下する場合がありますので、事前に試し印刷を行い支障がない事を確認してから使用してください。

普通紙、カラー用紙、部分印刷用紙

推奨紙：　エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3ノビ）
推奨再生紙：　REFOREST 100（日本製紙製）、やしまR100（丸住製紙製）
推奨長尺紙：　エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4幅、A3ノビ幅）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210×297	連量55～230kg (64～268g/m^2) 両面印刷（オプション）する場合は、 連量55～103kg (64～120g/m^2) 長尺紙の場合は、連量110kg (128g/m^2)	電子写真プリンタ用紙、電子写真コピー用紙、カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー用紙、電子写真プリンタ再生紙を使用してください。 カラー用紙の場合、用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐える用紙、かつ用紙特性が白色紙と同じ用紙 部分印刷用紙の場合、部分印刷に使用したインクが耐熱性で230℃に耐える用紙 両面印刷（オプション）できるカスタム用紙サイズは、幅100～328mm、長さ148～457.2mmです。
A5	148×210		
A6	105×148		
B4	257×364		
B5	182×257		
A3	297×420		
A3ノビ	328×453		
A3ワイド	320×450		
タブロイド	279.4×431.8(11×17)		
ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞｴｸｽﾄﾗ	304.8×457.2(12×18)		
レター	215.9×279.4(8.5×11)		
リーガル(13ｲﾝﾁ)	215.9×330.2(8.5×13)		
リーガル(13.5ｲﾝﾁ)	215.9×342.9(8.5×13.5)		
リーガル(14ｲﾝﾁ)	215.9×355.6(8.5×14)		
エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)		
カスタム	幅　76.2～328 長さ 90～1200		

以下の用紙は使用しないでください。
- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、表面が粗すぎる（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 保管状態の悪い用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・薬品などで加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

付録

はがき

サイズ　単位：mm(インチ)		その他の条件
はがき	100×148	官製はがき、および折っていない官製往復はがきを使用してください。
往復はがき	148×200	

以下の用紙は使用しないでください。
- インクジェット用官製はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

封筒

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
長形3号	120×235	坪量85g/m²	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒で、フラップ部が折れていないもの
長形4号	90×205		
角形2号	240×332		
角形3号	216×277		
角形8号	119×197		
洋形0号	120×235		
洋形4号	105×235		
Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lb	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒で、フラップ部がきちんと折れているもの
Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)		
DL	110×220(4.33×8.66)		
C5	162×229(6.38×9.02)		
C4	229×324(9.02×12.76)		
Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)		

以下の用紙は使用しないでください。
- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

付録

ラベル紙

推奨ラベル紙：LBP-F7XXX（コクヨ製）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210×297	0.1～0.2mm	電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙を使用してください。 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しないラベル紙 印刷工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
レター	215.9×279.4(8.5×11)		

OHPフィルム

推奨OHPフィルム：MLカラーOHPシート（A4サイズ）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210×297	0.1～0.125mm	電子写真プリンタ用または乾式PPC用OHPフィルムをお使いください。 プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPフィルム
レター	215.9×279.4(8.5×11)		

光沢紙

推奨光沢紙：エクセレントグロス（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3ノビ）

サイズ　単位：mm		厚さ	その他の条件
A4	210×297	連量110kg（128g/m²）	室内温度25℃以下、湿度60％以下の環境でお使いください。
A3	297×420		
A3ノビ	328×453		

- 光沢紙に印刷する場合は、プリンタのメニューのメディアタイプを「光沢紙」に設定し、プリンタドライバの給紙方法を「光沢紙」を選択してください。
- 光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。
- 光沢紙の場合、地にトナーが付着する場合があります。

付録

用紙の給紙方法と排出方法の関係

◎：片面、両面印刷とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
×：使用できません

種　類	厚　さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			トレイ1	トレイ2〜5[*1]	マルチパーパストレイ／手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
普通紙	連量 55〜103kg	A3ノビ, A3, A4[*2], A5, A6 B4, B5[*2], レター[*2] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	◎	◎	◎	◎	◎
		カスタム[*3]	◎[*7]	◎[*7]	○[*8]	○	×
	連量 104〜186kg	A3ノビ, A3, A4[*2], A5, A6 B4, B5[*2], レター[*2] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		カスタム[*3]	○[*7]	○[*7]	○	○	×
	連量 187〜230kg	A3ノビ, A3, A4[*2], A5, A6 B4, B5[*2], レター[*2] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	×	×	○	○	×
		カスタム[*3]	×	×	○	○	×
はがき[*4]	―	はがき, 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒[*4]	―	長形3号, 長形4号 角形2号, 角形3号 洋形0号, 洋形4号, 角形8号 Com-9, Com-10, DL C5, C4, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙[*5]	―	A4, レター	×	×	○	○	×
光沢紙[*5][*6]	―	A4, A3, A3ノビ	◎	×	◎	◎	×
OHPフィルム[*5]	―	A4, レター	○	×	○	○	×

*1： トレイ2〜5はオプションです。
*2： 縦送りと横送りができます。
*3： カスタムサイズは幅76.2〜328mm、長さ90〜1200mmです。
*4： はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
*5： ラベル紙、光沢紙、OHPフィルムのメディアタイプを設定すると印刷速度が遅くなります。
*6： 光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。光沢紙の場合、地にトナーが付着する場合があります。
*7： トレイ1〜5にセットできるカスタムサイズは幅100〜328mm、長さ148〜457mmです。
幅が100mm未満の用紙は、マルチパーパストレイにセットしてください。
*8： 幅100〜328mm、長さ148〜457mmのカスタムサイズであれば、両面印刷可能です。

付録

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%RHの環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

印刷範囲と印刷精度

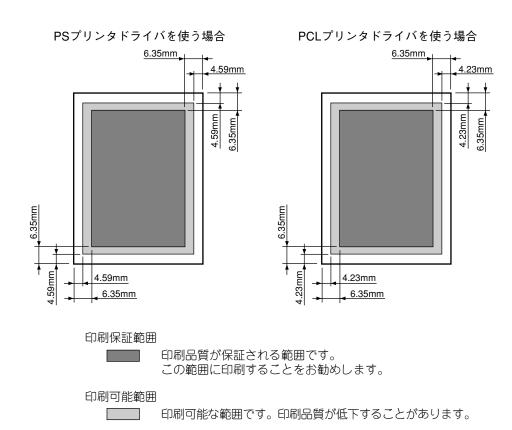
印刷範囲

お使いになるプリンタドライバによって、印刷範囲が異なります。
また、お使いになるアプリケーションによって、実際の印刷範囲が異なることがあります。

印刷保証範囲

印刷品質が保証される範囲です。
この範囲に印刷することをお勧めします。

印刷可能範囲

印刷可能な範囲です。印刷品質が低下することがあります。

印刷精度

- 書き出し位置±2mm、用紙の斜行±1mm/100mm、画像伸縮±1mm/100mm(連量70kgの用紙に印刷する場合)です。
- 両面印刷時の表裏の印刷精度は±2.5mmです。

付録

文字コード表(PS/PCLモード)

PSモード

- ***-83pv-RKSJ-Hは、主にMacintoshで使用します。(***はフォント名)
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-Hおよび***-Ext-RKSJ-Hは、主にWindowsで使用します。(***はフォント名)
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェアCD-ROM」の以下のフォルダにPDF形式で入っています。
  [Windows]　　[ML_COLOR]-[DOC]フォルダ
  [Macintosh]　　[ML_COLOR]-[漢字コード表]フォルダ
- 各PDFファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名 (Windows)	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H
HRL-83pv.pdf	Ryumin-Light-83pv-RKSJ-H
RL-90ms.pdf	Ryumin-Light-90ms-RKSJ-H
RLExRKSJ.pdf	Ryumin-Light-Ext-RKSJ-H
RL-RKSJ.pdf	Ryumin-Light-RKSJ-H
GM-83pv.pdf	GothicBBB-Medium-83pv-RKSJ-H
GM-90ms.pdf	GothicBBB-Medium-90ms-RKSJ-H
GMExRKSJ.pdf	GothicBBB-Medium-Ext-RKSJ-H
GM-RKSJ.pdf	GothicBBB-Medium-RKSJ-H

欧文標準

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	"	«	‹	›	fi	fl
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		ˋ	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	ϕ	γ	η	ι	φ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

付録

Wingdings-Regular

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	⚪	🞆	🞈	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮲	⮱	⮳	⮴	⮶	⮵	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬀	⬁	⬃	⬂	▭	▫	✗	✓	☒	☑	⊞

ZapfDingbats

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

Hoefler Text Ornaments

Low code

High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
A																
B																
C																
D																
E																
F																

PCLモード

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

ASCII
ROMAN_8
ECMA_94_L1
PC_8
DN
PC_850
ISO_SWED_NAMES
ISO_NORWEGIAN
LEGAL
VENTURA_INTNTl
VENTURA_USA
DESKTOP
WINDOWS_L1
PS_TEXT
ISO_ITALIAN
ISO_FRENCH
MATH_8
PS_MATH
PI_FONT
PC_852
WINDOWS_L2
VENTURA_MATH
WINDOWS31_L1
ISO_LATIN2
ISO_LATIN5
MICROSOFT_PUB
PC_TURK
WIN_LATIN5
ISO_UK
ISO_SPANISH
ISO_GERMAN
PC775
PC855
PC857
PC858
PC866
PC869
PC1004
PLSKM2V
ROMAN9
ROMANEX
SERCR1
SERCR2
SPANISH
UKRAIN
WINBLT
WINCYR
WINGRK
WINHEB
WINDING
DINGMS
SYMBOL
OCRA
OCRB
HPZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSSZIP
BULGAR
CWIHUN
GERMAN
GRK437
GRK437C
GRK737
GRK928
HEBRWNC
HEBRWOC
IBM437
IBM850
IBM860
IBM863
IBM865
DOTCH
ISOL6
ISOL9
SWEDSH1
SWEDSH2
SWEDSH3
ISO2
ISO10
ISO14
ISO16
ISO25
ISO57
ISO61
ISO84
ISO85
KMNCKY
MCTEXT
PCEXTDN
PCEXTUS
PCSET1
PC2DN
PC2US
WIN31J

PCL平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

付録

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	A	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	B	P	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	X	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	T	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	E	Y	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	H	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	I	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Z	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	K	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	M	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	N	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	O	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
なお、オプションのフィニッシャを使用した場合、この装置はクラスA情報技術装置になり、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
ColorWise、Command WorkStation、EFI、Fiery は、米国特許商標庁および / またはその他諸国における Electronics for Imaging, Inc. の登録商標です。
Fiery Downloader、Fiery Spooler は、Electronics for Imaging, Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriter および TrueType は、米国 Apple Computer Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Scalable Font は Monotype Imaging, Inc. からライセンスされています。
CG Omega は Monotype Imaging, Inc. の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Monotype Imaging, Inc. の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Monotype Imaging, Inc. の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Monotype Imaging, Inc. の製品です。
CG、Candid、Taffy は Monotype Imaging, Inc. の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Monotype Imaging, Inc.からライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

付録

使用許諾契約

重要。お客様へのお願い

プリンタの付属のCD-ROM には株式会社沖データが提供するプログラム(以下、OKI ソフトウェアという)とイー・エフ・アイ株式会社が提供するプログラム(以下、EFI ソフトウェアという)が含まれています。
パッケージを開封する前に下記ソフトウエア使用許諾契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージを開封された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約の条項を承諾いただけない場合は、未開封のまま速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ ソフトウェア使用許諾契約

使用許諾契約
プリンタに付属のCD-ROMに含まれているプログラムおよびドキュメンテーションは株式会社沖データ(以下、沖データという)が提供するものです。プログラムおよびドキュメンテーション(以下、総称してOKIソフトウェアという)をお使いになる前に、以下の項目をお読み下さい。

プログラムをインストールした時点で、お客様は、沖データとの間で本契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. 使用範囲
お客様は、OKIソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、OKIソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的としてOKIソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) OKIソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。OKIソフトウェアの構成、編成、コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。OKIソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第1条に定めた複製を除いて、OKIソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様はOKIソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様には本契約で認められた権利を除き、OKIソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様へのOKIソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、OKIソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様はOKIソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、OKIソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、OKIソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、適用法で認められる限り、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、OKIソフトウェアまたはOKIソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法及び輸出管理規制
OKIソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。本契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。

もし、本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。
OKIソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずにOKIソフトウェアやOKIソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

7. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対するOKIソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

イー・エフ・アイ株式会社 ソフトウェア使用許諾契約

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下のソフトウェア使用許諾契約(以下、本使用許諾契約)をお読みください。EFIソフトウェア(以下、本ソフトウェア)を使用されるお客様は、法人/個人に依らず本使用許諾契約に同意する必要があります。本使用許諾契約は、EFIソフトウェアに関するお客様とElectronics for Imaging, Inc.(以下、EFI)との間の法的合意事項となります。本使用許諾契約に同意する場合、「同意する」をクリックしてください。同意しない場合、「同意しない」をクリックし、ソフトウェアのインストール、複製、使用をしないでください。

Windows Me/98用PostScript(R)プリンタドライバ、Windows NT4.0用 PostScript(R)プリンタドライバ、Windows 2000用PostScript(R)プリンタドライバ、Windows XP用 PostScript(R)プリンタドライバ、Job Monitor、Command WorkStation 4、ColorWise Pro Tools、Fiery Downloader、Fiery Printer Delete Utility、HotFolder、Fiery Spooler、CWS LE、WebTools、ICC profiles、PPD for OS 9 and X、Fiery Job Notes Plug InはEFIが提供するものです。

「同意する」ボタンをクリックし、または本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用することにより、お客様は本使用許諾契約に従うべき義務を負うことになります。本使用許諾契約に従いたくない場合、「同意する」をクリックしないでください。また、本ソフトウェアをインストール、複製、あるいは使用しないでください。この場合、お客様は、お買い上げ日より30日以内にレシート等支払い証明を添付してお買上げ販売店に未使用の本ソフトウェアとその全同梱物を返却して、全額払戻しを受けることができます。

付録

ライセンス
EFIは、お客様に、お買上げいただいた本ソフトウェアの使用について、本使用許諾契約の条項のみに従い、EFI製品説明書に明記されたとおりに、かつEFI製品説明書に明記された製品(以下、本製品)のみにつき、限定的、非独占的なライセンスを与えます。
本使用許諾契約における「本ソフトウェア」とは、EFIソフトウェアおよびEFIソフトウェアに関する一切の文書、ダウンロードしたもの、オンライン上のコンテンツ、バグフィックスプログラム、パッチ、リリース、リリースの注意事項を記載した文書、アップデートプログラム、アップグレードプログラム、テクニカルサポート提供物、およびその他の情報を意味します。本使用許諾契約の条項は、お客様によるこれらアイテムの一切の使用に適用があり、効力を及ぼします。ただし、アップデート、リリースまたはアップグレード時に、EFIは書面による追加契約事項を与えることがあります。
本ソフトウェアはライセンス供与されるものであり、販売されるものではありません。お客様は、EFI製品説明書に記載された使用目的でのみ、本ソフトウェアを使用できるものとします。お客様は、本ソフトウェアのレンタル、リース、サブライセンス、貸出し、またはその他の方法でソフトウェアを配付することはできません。また、本ソフトウェアを時分割サービス、サービス機関、または類似の形態で使用することはできません。
お客様は、本使用許諾契約にて許容される目的のためにバックアップまたはアーカイブ・コピーを1部作成することができますが、それ以外に本ソフトウェアまたはその一部について、いかなる複製も作成することはできません。ただし、いかなる場合であっても、本製品のコントローラボードまたはハードウェアの任意部分に含まれるソフトウェアについては、いかなる複製を作成することもできません。お客様は、本ソフトウェアのいかなる部分についても、ローカライズ、逆アセンブル、デコンパイル、解読、リバースエンジニアリング、ソースコード解読、改変、派生製品の作成、その他いかなる変更も、しないことに同意するものとします。

知的財産権
お客様は、本ソフトウェア、全てのEFI製品、およびその複製物、変更物、派生物についての、あらゆる知的財産権を含む全ての権利、所有権および利益は、EFIとその供給元のみが保有することを認識し、これに同意するものとします。本使用許諾契約で明示された限定的ライセンスを除いて、いかなる権利もライセンスも与えられません。お客様は、いかなる特許権、著作権、営業秘密、商標(登録、未登録を問わず)、またはその他の知的財産権も与えられません。お客様は、いかなるEFIの商標や商号またはそれらと類似したもしくは混乱を生じさせるようなあらゆるマーク、URL、インターネットドメイン名またはシンボルを、お客様ご自身、その関係会社または製品の商号として採用し、登録し、または登録を試みないことに同意するものとします。また、EFIやその供給元の商標権を損なうような、その他のいかなる行為をもしないことに同意するものとします。

守秘義務

本ソフトウェアは、EFI専有の秘密情報であり、お客様は他に配布・開示することはできません。ただし、次の場合に限り、本使用許諾契約上のお客様の一切の権利を他人または他の法人に譲渡することができます。(1)その譲渡が、適用ある全ての輸出関連法規ー米国輸出管理法を含む米国の法律および規則を含みますーにより許され、(2)お客様が、複製物、アップデート、アップグレード、媒体、印刷文書、および本使用許諾契約を含めた本ソフトウェアの全てを第三者に譲渡する場合で、(3)譲渡の際、お客様がバックアップ、アーカイブを含む本ソフトウェアの一切の複製物を保持せず、(4)譲渡先の第三者が本使用許諾契約の全条項に同意する場合。

ライセンスの終了

本ソフトウェアを許可なしで使用、複製、開示した場合、あるいは本使用許諾契約について何らかの不履行があった場合、本ライセンスは自動的に終了し、EFIは他の法律上の救済手段も利用可能となります。ライセンス終了の場合、お客様は本ソフトウェアまたはその構成部分の複製物の全てを破棄しなければなりません。その場合でも、本ソフトウェアに関する守秘義務、保証の免責、責任限定、救済手段、損害、準拠法、裁判管轄権、裁判地、およびEFIの知的財産権に関する本使用許諾契約の全ての条項は、ライセンスの終了後も効力を失いません。

限定保証および免責

EFIは、本ソフトウェアがEFI製品説明書の記載どおりに使用される限り、お客様が受領されてから90日間は、本ソフトウェアが実質的にEFI製品説明書の記載どおりに動作することを保証します。EFIは、本ソフトウェアがお客様の特定の要求に適合すること、本ソフトウェアが停止せず、常に安定して動作を継続し、耐停止でエラーが無いことまたソフトウェアの欠陥は全て修正されることについて、何らの表明も保証もしません。また、EFIは、本ソフトウェア以外の本製品もしくはサービス、または第三者製の製品(ハードウェアまたはソフトウェア)もしくはサービスについて、明示的にも黙示的にも、その性能または信頼性を保証するものではありません。なお、EFIが容認する第三者製の製品以外の製品をインストールした場合、本保証は無効となります。EFIが認める場合を除き、本ソフトウェアまたはEFI製品を使用、改変、および/または修復した場合、本保証は無効となります。さらに、事故、悪用、誤使用、異常使用、ウイルス、ワーム、その他類似の外的要因により本ソフトウェアに問題が起こった場合も、本限定保証は無効になります。

適用される法により許容される最大の範囲で、上記の明示的限定保証(「限定保証」)を除き、EFIは本ソフトウェア、本製品、および/またはいかなるサービスーそれが明示的であれ黙示的であれ、法令に基づくものであれ、本使用許諾契約上のいかなる条項に基づくものであれまたはお客様とのコミュニケーションに基づくものであれーについても、表明または保証をせず、かつお客様はそれを受けることができません。EFIは特に、安全性、商品性、特定目的に対する適合性および第三者の権利侵害がないことを含む全ての黙示的保証、表明および条件から免責されます。ソフトウェアおよび/または製品が停止しないこと、常に安定して動作を継続すること、耐停止でエラーがないことについては、いかなる表明も保証もありません。適用される法により許容される最大の範囲で、一切のソフトウェア、本製品、サービスおよび/または適用ある保証に関するお客様の唯一かつ排他的な救済手段、かつEFIおよびその供給元の責任の全ては、EFIの選択による(1)限定保証に適合しないソフトウェアの修理もしくは交換、または(2)限定保証に適合しないソフトウェアの代金(もし支払われていれば)の返還です。本項に規定された場合を除いて、EFIおよびその供給元は、代金払戻し、返品、交換、または同等の機能を提供するソフトウェアの提供は一切行いません。

付録

責任の限定

適用される法により許容される最大の範囲で、お客様による本ソフトウェア、本製品、サービス、および/またはこの使用許諾契約に関するEFIまたはその供給元に対する一切の請求は、それがどのような提訴内容である場合でも(契約責任、不法行為責任、法定責任またはそれ以外のいずれであるかを問わず)、お客様が当該EFIソフトウェアに対して支払った対価を超えないことに同意するものとします。お客様はこの金額が、本使用許諾契約の目的に適うものであることに同意し、またこの補償額は、EFIおよびEFIの供給元による不法行為または過失によって生じた損失や損害の公正かつ合理的な見積額であることに同意するものとします。適用される法により許容される最大限の範囲で、代替ソフトウェア、代替製品、代替サービスの調達にかかる費用、利益の逸失またはデータの損失、第三者からの請求、その他特別な、間接的、依存的、結果的、懲罰的または付随的損害については、それが本ソフトウェア、本製品、サービスおよび/または本使用許諾契約によって引き起こされたものであっても、EFIおよびその供給元は一切責任を負いません。この責任限定は、たとえEFIおよびその供給元が、そのような損害の可能性を知らされていた場合であっても適用されます。お客様は、本ソフトウェアの価格がこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。お客様は、上記の責任限定および免責事項が本使用許諾契約において最も重要な条項であり、これら2つの条項にお客様が同意しない限り、EFIは本ソフトウェアの使用許諾を行わないことを認識した上で同意したものとします。

米国の州や司法管轄区域の中には、本使用許諾契約に定める責任の除外および/または限定の一部または全部を許さないところもあるため、上記の責任除外・限定は、お客様に適用がないかもしれません。

デラウェア法人である Adobe Systems Incorporated(以下、Adobe社)(住所：345 Park Avenue, San Jose, California 95110-2704)は、本使用許諾契約が本ソフトウェア、フォントプログラム、書体、商標などお客様の使用に関する条項を含む限りにおいて、本使用許諾契約における第三者たる受益者です。以上の条項はAdobe社の利益のために明示的に設けられたものであり、EFIに加えAdobe社がこれを行使することができます。Adobe社は、本項に記載されたいかなるAdobe社製ソフトウェアおよび技術に関しても、お客様に対して一切の責任を負わないものとします。

輸出制限

本ソフトウェアおよびEFI製品には、米国輸出管理法を含む米国における輸出関連の法律および規則が適用されます。本使用許諾契約で付与されるライセンスは、お客様が、米国における輸出関連法規を含む適用ある全ての輸出関連法規に従うことを前提としています。お客様は、これらの法規に違反する形で、本ソフトウェアおよびEFI製品のいかなる一部も、使用、開示、配布、譲渡、輸出、再輸出しないことに同意するものとします。

政府による使用
アメリカ合衆国政府による本ソフトウェアの使用、複製、開示は、FAR 12.212またはDFARS 227.7202-3 -227.7202-4に定める規制に服し、かつ米国連邦法で要求される範囲において、FAR 52.227-14、Restricted Rights Notice(June 1987) Alternate III(g)(3)(June 1987)またはFAR 52.227-19(June 1987)に定める最小限の限定権利(minimum restricted rights)に服します。技術データは、本使用許諾契約に従って提供される技術データの範囲内で、FAR 12.211およびDFARS 227.7102-2によって保護され、またアメリカ合衆国政府により明示的にに要求される範囲で、DFARS 252.227.7015(November 1995)およびDFARS 252.227-7037(September 1999)に定める限定権利に服します。上述の規定が修正または他の法規により上書きされる場合、その後の同等の規定が適用されるものとします。契約者名はElectronics for Imaging, Inc.です。

準拠法および管轄権
本使用許諾契約の当事者の権利および義務は、あらゆる意味において排他的に、カリフォルニア州法に準拠するものとします。従って、カリフォルニア州住民間でカリフォルニア州内において成立する契約に対する法律が適用されます。国際物品売買契約に関する国連条約およびその他同様の条約は本使用許諾契約には適用されないものとします。本ソフトウェア、本製品、サービス、および/または本使用許諾契約に関連する全ての紛争については、お客様は、カリフォルニア州サンマテオ郡における州裁判所および北カリフォルニア連邦裁判所のみを所轄裁判所とすることに同意するものとします。

一般条項
本使用許諾契約はお客様と Electronics for Imaging, Inc.との完全合意　を表したものであり、本ソフトウェア、本製品、サービス、本使用許諾契約が規定するその他の事項に関する他のやり取りや広告に優先するものです。本使用許諾契約の一部の条項が無効でも、それらの条項は法的強制力を有するのに必要な範囲で修正されたとみなされ、また、それ以外の部分は完全な効力を有するものとします。

ご不明な点がありましたら、EFIのWebサイト(www.efi.com)を参照ください。
Electronics for Imaging, Inc.
303 Velocity Way
Foster City, CA 94404
USA

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾に関する付記

イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾で言及している「EFIソフトウェア」には、EFI社製品に含まれているオープンソースソフトウェアは含まれておらず、また、イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾は、オープンソースソフトウェアには適用されません。製品に含まれるオープンソースソフトウェアの使用は、イー・エフ・アイ株式会社ソフトウェア使用許諾とは別に提供され、プリンタソフトウェアCDのOpenSrcフォルダ内のReadme.txtに記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に準拠しなければなりません。本製品を使用することは、プリンタソフトウェアCDのOpenSrcフォルダ内のReadme.txtに記載のオープンソースソフトウェア使用許諾に示される条件を受諾したことになります。
オープンソースソフトウェア使用許諾の条件を受諾できない場合、購入日から30日以内以内に領収証と共に製品を購入された販売店にお持ちください。購入時にお支払いになった代金を全額返金致します。

以上

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

※商標について
Adobe、Adobe ReaderおよびPostScriptは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Windows、Windows NT は米国内及び各国で登録されたMicrosoft Corporationの登録商標です。
Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
ColorWise、Command WorkStation、EFI、Fieryは、米国特許商標庁および/またはその 他諸国におけるElectronics for Imaging, Inc.の登録商標です。
Fiery Downloader、Fiery Spoolerは、Electronics for Imaging, Inc.の商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

付録

索引

索引

[ア]

[イ]

[ウ]

[エ]

[オ]

索引

[カ]

[キ]

[ク]

[ケ]

[コ]

[サ]

索引

索引

[ム]

[メ]

[モ]

[ヤ]

[ユ]

[ヨ]

[ラ]

[リ]

[レ]

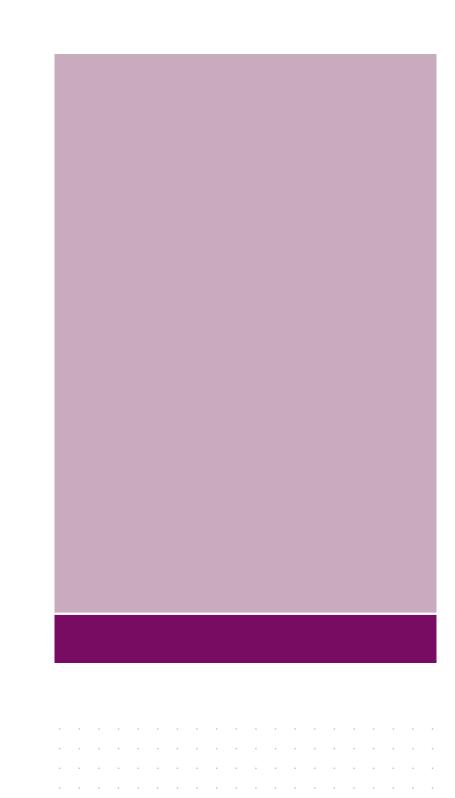
[ロ]

[ワ]

オキカラーページプリンタ
MICROLINE Pro 9800PS-X
MICROLINE Pro 9800PS-S
MICROLINE Pro 9800PS-E
ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2007年 2月　第4版
発行者　株式会社 沖データ

42952902EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日

9:00～17:00 土曜日

（但し 祝日を除く）